京城日報

廿八日夕刊

本紙定價 一ケ月金五十錢 三ケ月金一圓四十錢 半ケ年金二圓七十錢 一ケ年金五圓 郵券代用一割増
廣告料 五號活字一行金七十錢 ▲特別指定一行金一圓 ▲三號活字の一行は二號活字同様 ▲六號活字の一行は五號活字同様の事
發行兼編輯人 奥田直毅
印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通一丁目 合資會社 京城日報社
電話 編輯 營業 販賣 京城

三派合同成否如何

公友派實行團體の反對決議

與黨三派合同成否の疑たりし公友派實業家懇談會は二十七日夜築地精養軒に會合し滿場一致左の如く合同反對の決議を爲したり（東京特電）

吾人は公友俱樂部組織當時の宣言に基き友黨三派の合同には絶對に反對す

▲出席者 精養軒出席者は金澤(仁作)、川崎、西田、田中、古谷、丸山、高巖、大木、重盛、原本、渡邊、金澤(種次郎)及び特に招待したる小村、加藤の諸氏にして猶吉田、三木、九鬼、多木の四氏は電報を以て一致の行動を執るべきを申し來れり（東京特電）

▲計畫一時消滅 今回の合同計畫は從來と異り苟も加藤同志會總理、尾崎、高田兩相之を主唱し大隈首相迄親しく斡旋するに至りたるものなるが今此の公友俱樂部の反對意見に依り遽かに運動を中止せん事は計畫者側の忍びざる所なるべく此の善後策は頗る注目に値すべし然れども實情は如何共すべからず同志會の百五十二名と中正會中の合同贊成者二十餘名とを合するも百七十餘名にして猶三十名の合同者を公友派より拔き來るに非ざれば合同の目的たる衆議院に於ける絶對多數は贏ち得べからず然らば此の合同計畫も此處に一時消滅して外は公友俱樂部が友黨の感情を乖離し内は黨中黨を樹て從來の首領的團體行動を逐ふべしとするに至るを以て終局を告ぐるに至るべきか（東京特電）

（別報）政府與黨三派合同計畫は公友俱樂部員の多數及び中正會の一部頑として動かず大隈首相高田文相の斡旋も効果なく反對派は別に一黨組織の計畫を爲す等此儘進捗せば與黨の基礎動搖し分裂をも見るべき形勢となりし結果合同計畫は遂に一頓挫を來せり（東京電報）

諸星鎌倉會合

後藤男、半田子、芳川伯及び大浦兼武氏は鎌倉に會し何事か凝議する所あり時節柄一般の注目を惹きたり（東京電報）

鄭家屯事件と領事報告

八田奉天總領事及び鄭家屯派遣の酒匂營口領事代理の調査事項は直接北京の林公使に報告せしむる事に決し外務省は鄭家屯事件に關する接衝を林公使に一任するに決せりと傳へらる（東京電報）

張耀曾總長就任か

湯化龍及び張伯烈兩氏の去就は不明なるも張耀曾は阿片事件連累の嫌疑解け國會の同意により司法總長に就任すべし（北京電報）

倫敦郊外に敵飛行隊

八月二十五日敵の飛行隊は早朝倫敦の郊外に達し爆彈放火彈を投下し八名を即死せしめ二十一名を負傷せしむ其の他兵士十五名負傷したるが敵の投下せる爆彈は合計百個なり（倫敦電報）

英海軍飛行機の投彈

飛行機一臺の行衞不明

公報に曰く八月二十五日早朝海軍飛行機はナムール附近に於ける敵の二飛行船格納庫に投彈したるも雲霧低くして損害を確認する能はざりき猶我が飛行機一臺は行衞不明となれり（倫敦電報）

英軍の前線進出す

重要視す可き佛軍の前進

二十五日午後發表のヘーグ將軍の報告に曰く我軍はロングヴアル、フレーヤーの道路及びソンム河に於て其の前線を數百碼前進せしめたり又我が軍はモーレパを過ぎて前進せる佛軍と右翼に於て聯絡を全うせり佛軍のモーレパ方面に於ける前進は大に重要視すべし（倫敦電報）

佛軍進出効果多大

佛軍はヴエルダンの東方フレリー方面に於て勇敢なる突擊の後進出し獨兵八百名を俘虜とせるが戰局に及ぼす効果頗る多大なり（倫敦電報）

羅國の戰費豫算增加

兵站大臣の職を設く

羅馬尼政府は戰時豫算を八百萬磅に增加し羅馬尼軍總司令官にボバウイッチ將軍任命せられ新たに兵站大臣の職を設けられたり（倫敦電報）

勃軍全戰線の砲戰

英騎兵斥候の橋梁破壞＝塞軍勃軍を擊退す

巴里來電公報に曰く、タヒノ湖の東方に於て英軍の騎兵斥候は敵を阻止せんが爲め八月二十五日アニゲスタ河に架せる數個の橋梁を破壞したり勃軍はバラトラマの攻擊を行はず同處は希臘軍守備隊によりて維持せられつゝありペレス山ドイラン湖ストルマ河の方面に於ては小戰行はれ勃軍は全戰線に亘りて砲戰を行ひ塞耳維軍はオストロボの西北に於ける勃軍を擊退し數百の捕虜を獲たり（倫敦電報）

支蒙軍の其後

追擊を免るか

休戰妥協後の蒙軍は局外より其歸路の運命を悲觀さるゝに反し案外呑氣に且大膽に構へ深く顧る處あるが如く何の提ろゝ事もなく目下人を派して糧食彈藥等の補給に勉めつゝあるが一方支那軍は少しも警戒の手を緩めず張督軍は吉黑兩督軍と盛んに密電を往復して蒙匪の勦討方案につき交渉を重ねつゝあり現在支那軍の討蒙布置は鄭家店に於て包圍の態勢にある各軍の外熱河都統姜桂題は開魯、赤峰諸縣に於て、吉林督軍は伊通、農安一帶に於て、又黑龍督軍は大賚等の地に於て、それ〴〵出兵し蒙軍を邀擊せんと構へつゝある上に吉林黑龍には戒嚴令さへ布きて嚴戒しつゝあれば支那軍の蒙兵退却不追擊は特に顧慮の事情に變異なき限りは殆んど信じ難きに似たり或は支蒙休戰妥協に我が領事を立會せしめば可なりとの說あるも蒙軍幹部の謀士連は或は斯る窮屈なる評約を却て好まざるやも知れず結局觀望野生の蒙軍は其野生的態度を鼓舞し何等か賴む處ある活路を見出して横行疾驅其故土に返り更に近く捲土重來の壯圖を策せんとする者の如しと

宗社黨沒落す

滿洲に於ける宗社黨一派の扶國護國軍等は前に其總統長逝の爲めに其擧兵の目的を喪ひ更に南北統一民國復活に依りて全く其立場を失ひ孫逸仙に屬する一派は早くも解散を布告して進退を明かにせしも其餘黨及び名を之れに假る似非の黨軍は各地に小幟を掲げ劫掠を擅にして猶く士林の排斥を受けたり彼等は蒙軍巴布札布の南下に力を得之れと聯合する最後の運動を試みたるも蒙軍は事志と違ふて蒙軍北退するの已むなきに至り而して我官憲は彼等黨羣が動もすれば租界地に出入する爲め支那官憲より種々の嫌疑を受け日支交情を阻害し之れを放置する時は大局上非常の不利益を來す可きを以て遂般柴參政官來滿を機として種々善後研究の結果愈々彼等黨群を我租界及び附屬地より一掃することゝしたれば彼等も亦時の利あらず大勢の非なるを察してそれ〴〵解散したり猶最近迄運動を試みつゝありし金鼎臣一派の者も善後費若干を得て二十四日全く解散したり（奉天）

▲後援者と絶緣 大連に集合せる宗社黨は有力なる其の後援者と絶緣し一先づ解散に決定せり（大連特電）

行賞傳達式

二十八日午前九時より總督府總督室に於て大正三四年事件に對する行賞傳達式を擧行し山縣政務總監より小松中樞院書記官長外二十三氏に對し夫れ〴〵既記の如く傳達ありたり

地查委員會

高等土地調查第一部委員會は二十八日午前十時より總督府第一會議室に開催山縣委員長以下第一部に屬する各委員出席し土地查定不服申請に關する件に就き審議決定の上正午散會したり

官邸伺候式

軍司令官

井口軍事參議官出發に就き二十八日午前十時龍山官邸に於て伺候式を行ひ立花第十九師團長、古海憲兵隊司令官、秦副將、白水軍參謀長、高橋總督附武官其他各團隊長、上長官以上の將校の伺候式を行へり

井口中將と儀仗

井口軍事參議官は二十八日午後七時五十分南大門驛より出發東上すべきが夜間なれば特別兵及び禮砲は省略するも官邸より南大門驛に到る間儀仗兵附せらる筈なり因に中將は途中京都に立寄り桃山御陵參拜の上東上すべし尙ほ立花師團長、白水參謀長、竹內高級副官は永登浦迄見送を爲す筈なり

新軍司令官

到著期

秋山駐劄軍司令官は井口軍事參議官の上京を俟ち東京にて引繼を了して八日午前八時四十二分龍山驛著の豫定なり

寺西軍醫部長

賜暇休暇にて東上中なりし駐劄軍々醫部長寺西正隆氏は二十六日午後八時五十二分龍山驛著歸任せり

井出主計監出發期

井出主計監は龍山を引拂ひ九月四日夜龍山發東京へ赴く筈の由にて東京に於ける住所は府下雜ケ谷字本村西六百六十三番地なりと

米鋼鐵王出發

入京中なりし鋼鐵王ゲーリー氏は二十八日午前八時半南大門發列車にて出發せるが一行は宮島にて下車の上東上する筈なりと

小原長官招待

東洋拓殖會社にては二十八日正午より入京中の忠清南道長官小原新三氏の一行を主賓として朝鮮ホテルに午餐會を開催せしが總督府より兩三氏陪席し會社よりは野田林井上各重役列席せり

柳道長官出張

忠淸北道長官は鐵道狀況視察の爲め二十七日忠淸南道公州に出張せり

▲佐々木法院長歸任 佐々木光州地方法院長は內地旅行中の所二十七日仁川に出で海路歸任せりと

▲白耳義領事 京城駐在白耳義領事ブリボチヤ氏一行三名は二十七日午前九時半南大門驛發元山港に向へり

製綿重役辭職

又も臨時總會の召集

朝鮮製綿會社は豫て露國より注文を受けたる脫脂綿の引受に當り株主等は重役等の取りたる行爲に對し不平を抱きたるもの如く爾來再三種々の會合を催し辛じて當場の急を糊塗し得たれども元來會社の名義を以てせる脫脂綿の引受を重役個人に於て爲さんとし而かも其利益の幾分を會社に提供せんと稱するも金額を明にせず加ふるに近來會社の經營法頗る面白からざるものありと爲す株主側の不平と重役等は又會社の利益を增進せんとして採りたる今回の行爲が端なくも株主に相談せざりしとの一事を以て責を問ひ遂に重役個人の事業として事業を繼續せんとすれば利益の提供に兎角の困難なる條件を提出し剩さへ株金の拂込を肯せずとすれば到底會社今後の事業を引受けて株主の要望に添ふこと頗る困難なりとなし結局此際吾々にして速袂辭職を行はゞ會社と株主との調和を圖り將來の圓滿を保ち得可しと爲したるもの如く遂に社長の中村十郎、關繁太郎、梶原末太郎、藤富國太郎の四重役及び監查役たる中村政治郎氏は辭職を申出でたり右により重役は本月十八日の臨時總會に於て補缺選しせる鈴木藤次郎氏一人となりたる次第なるが來る九月五日午後二時より臨時總會を開會し重役及び監查役の補缺選擧を行ふことゝなりたり

濟州島の被害

去る二十四日に於ける濟州島暴風雨被害に付き其の後の調查に依れば死者三名牛馬七頭死亡家屋全潰三戶半潰二千三百十戶に達せる旨廿八日朝島廳より全南道警務部を經て總監部に來電ありたり

平南秋繭走り

平安南道に於ける秋蠶は目下上蔟中なるが本月末より九月五日頃市場に出盛りの候となる可く八月二十六日平壤に於て龍山製絲商行平壤支店が新繭の取引をなしたるが價格一斤（一斗）五圓（西川郡產）なりき因に秋繭は出盛期に於て最優良品一斤四圓五十錢乃至七十錢位なるべしと

清津

▲活牛輸入 北鮮牛の致賀輸入は本月一日より活牛の移入を爲し得る事になりたれど目下北鮮牛の價格最も高値なる時期なるを以て直に輸入の開始は困難なるも其の計畫は三方面に於て各々進行しつゝあり牛價下落時期なる九月下旬にも入らば移入者を見るなるべしと豫想さる▲小蟹群遊 本月中旬來清津港灣內に小蟹の遊泳夥だしきより之を漁獲し製乾して販賣子の製造を開始せるものあるが相應は十貫八圓內外にて既に千餘貫を製出し相當の利益を收めたりと▲憲兵增設か 過般來豆滿江對岸支那官署は豆滿江要所に稅關官署を設置すべくとの風說あり又た憲兵を增設すべしとの說傳はり居れど未だ實現せず然るに去月中旬憲兵署に於て憲兵中尉一名を增員したる關係より推すれば憲兵官署を設置すべき事實なるが如し▲近海の漁業 清津近海の夏季漁業は漸く晩終期となれるが本年夏季漁業は鯖、鰤、鰯其他何れも不漁にして例年の三分一にも達せざりしも魚價高値を維持し漁業者の收入に於ては前年と大差なきを得たり尙秋漁期は來月中旬より鯖の漁獲を目的として投網されん▲國境牛疫發生 國境鍾城郡鍾城面周山洞に本月十七日牛疫一頭發生以來南山面、二峯洞、豐山面の各洞及び鍾城面鍾城洞等に廿二頭の牛疫發生し猖獗を極むるより同郡にては應急施設を施し極力防疫に努め血淸豫防注射を爲しつゝあるが病系統は昨今豆滿江の減水を利用し對岸間島より病牛を移入せしにあらずやと云ふ▲豆滿江水量減退 本夏間島及び國境地方は晴天續きにて降雨なきを以て豆滿江の水量著しく減退し爲に伐採材の流下不可能となれる木材は上流にては一本宛放流し居るの有樣なるが豆滿江に達するには多大の日子を要し搬出不振を極め居れり

會寧

▲會寧輸出入貿易 七月中會寧輸出入貿易額は輸出一萬三千七百四十二圓輸入一萬七千七百六十九圓計三萬一千五百十一圓にして六年同期に比し輸出三千三百十四圓輸入七千七百三十五圓の何れも激增を見たるが之が原因は六年に比し間島住民購買力の增進と本月一日より間島防穀令解除の結果粟の輸入激增せしに基因す▲會寧の旱魃 會寧地方は對岸間島地方に同じく二箇月餘に亙りて降雨なき爲め地床乾燥し農作物の被害少なからざる狀況にて尙ほ此上降雨なくば大半枯死せん模樣なり因に同地方本年の暑氣は近年稀有とする所にして連日室內にて寒暖計百度內外を示し居れり▲會寧市區改正 會寧市民は淸會線開通の曉に於ける會寧の一大發展を豫想し尙ほ進んで吉會線延長の議會に於て同地が歐亞交通の要路となり且つ北鮮國境の重鎭たるべきを期待し先づ之に對する準備として有志者間に市區改正の議唱へられありしが本月十九日郡廳にては市民の重なるもの三十名を招集し武田郡守代理より市街道路改修に關する一般の希望を訊ね種々なる意見の交換ありて委員十一名を指名し各委員に於て詳細なる調査を遂げ市民の希望を[illegible]へ提出する事となれり▲水鉛鑛發見 [illegible]方面にて探鑛の結果同地附近に於てモリブデン水鉛を發見し直に採掘許可の手續に及びたるが會寧附近には尙ほ他に同鑛の產出地あり亦近く採掘出願の筈なり

平壤

▲平南害獸被害 平安南道に於ける本年一月一日より六月三十一日の間に於ける害獸被害の狀況は虎の爲めに牛馬の死したるもの一、豹害牛馬死四、熊害人負傷一、ヌクテー害牛馬死二、同人傷二なりと▲平壤米白近況 平壤に於ける米價は一時在庫品薄のため七月下旬より八月上旬に掛け一斗五十錢方の騰昇を示したるが一般農家は此高値を聞知し尙本年の豐作を見越して貯藏品を市場に出すもの多く爲めに其後は大なる高値を現はさず糯に至りては少々下り氣味にて上旬百斤四圓二三十錢を唱へ居たるも昨今四圓位にて取引行はれ精白は上物十五圓七十錢並白十五圓五十錢にして平壤市場在糯高は約四百俵（百七十斤入）なり

仁川

▲鹽冷藏竣工 仁川猫町に建設中なりし鹽冷藏庫は此程竣工したるが鹽魚數十桶を直ちに貯藏せり▲行軍ご宿舍 二十九日行軍の上仁川に宿泊すべき第二三十七聯隊第三大隊宿舍割當は宿舍は村谷吉藏、平山松太郎、[illegible]次郎、高杉升、淺松太郎諸氏宅下士は市內各旅館の豫定なるが著任の上多少變更を見るべしと▲仁川上半期食鹽分布 仁川港本年上半期に於ける食鹽の輸入は四十萬一千九百八十二擔價格十八萬一千二百三十圓之を前年同期と比較すれば十三萬九千二百四擔六萬二千九百七十八圓の增加をなせり之れが原因は前年より越品手薄にして初春に於て品拂底の狀況を呈し市場緊張したるを以て日本鹽業會社及び當港再製鹽業者は汽船便を利用し關東州鹽並に青島鹽を輸入したるに其の後に至り支那戎克の入港頻繁なりし結果にして戎克の入港多數に達したりしは仕出地に於ける生產の好況と當港市價の氣配に在りたるに依るものにして需要の方面は北鮮地方及び釜山方面への搬出を激增し其他鐵道沿線及び沿岸地方への搬出も概して增加の傾向ありしに原因せり

晉州

▲機業連習所 當地[illegible]機業連習所は昨今連習生一名、機織生八名見習生六名にて一日の製布高十六反位にして販路は多く晉川河東方面にして値段は一圓三十五錢にて賣行よし▲酒造者に注意 九月一日より酒稅の新施行さるゝより郡廳にては酒造者及び酒類販賣者を矗石樓に召集し韓郡守より現在品の屆出で及び新令施行後に於ける注意的の訓示をなせり

人事消息

▲安藤中佐（軍參謀） 廿八日夜南大門發東上
▲千輪大尉（軍副官） 廿七日夜北鮮より歸任
▲青木信助氏（遂安金鑛主事） 入京中の處廿八日朝退京
▲河村貴族院議員 廿八日朝入京
▲今野技師（山林課） 二十七日高陽郡に出張
▲大和丈夫氏（京城通信社長） 二十八日夜南大門驛發汽車にて東上
▲入澤重麿氏（慶北第一部長） 內地旅行中の處二十七日午後一時著列車にて大邱へ歸任
▲安東義喬氏（東拓大邱出張所長） 內地旅行中の所二十七日歸邱
▲入山文七氏（遞信局技師） 久しく內地方面に旅行中の所二十七日夜歸京
▲[illegible]氏（[illegible]） 扶餘鑛山公州方面へ出張中の所二十七日夜歸任
▲稻塚信氏（日本電報[illegible]） 二十八日朝入京
▲大橋鐵男氏（久原鑛業技師） 二十八日朝入京 天眞樓へ
▲山川浩吉氏（撞球名手） 入京中の處二十七日夜仁川へ
▲井浦義久氏（晉州文廳判事） 廿七日內地より釜山上陸歸任
▲矢鍋永三郎氏（元山稅關長） 同上

□槿上の文哉子より 北鮮視察中なる工藤文哉氏元山より一律を無佛社長に寄せて曰く

百里乾坤一顧間。車窓忽對好山顏。奇岩怪樹風含涼。即是白雲三防關。
驅車百里意悠々。閱盡當年萬戶州。入月野花多涼味。三防關外已深秋。

□萩 大塊

萩日本種野邊は高麗なるも又 大痴
○
折敷きて高麗野の萩の眺め哉 虎耳
○
土砂降りて月夜の馬に萩野哉

女生徒四名溺れ一名死す

清津輸城ヶ濱海水浴場の椿事

二十一日清津小學校にては二十日間の夏季休業終へ始業始めなれば午後職員六名は全生徒二百五十餘名を引率し輸城濱にて海水浴を爲したるが當日は天氣なりしも幾分海上に波浪ありしに高等科一學年女生徒四名は手を携へて浴場境界線附近を歩み居る中一名が深所に陷り足を浚はれて倒れしより他の三名は之を救はんと溺水者の手を取りしに力及ばず三名共將棋倒れに打倒れ藻掻き居たるを發見せし職員は直に現場に赴き四人を救助し水を吐かせ應急手當を施したる結果三名は蘇生せしも最初に溺れて最後に救助されし山口あやの（一四）は溺水時間久かりし爲遂に絶息せり當面の責任者たる校長の責任問題に就ては道學務係に於て調査の上本府に上申指令を俟つ筈也と（清津）

墓場を守らんとて村民二千名集合

新義州守備隊の現場急行＝揚市の採鑛中止

本月二十五日午後七時頃平安北道龍川郡揚市に於て鑛山採掘事業より端なくも物議を醸し村民二千人以上集合し棍棒鎌等を携帯し鑛山採掘事業を中止せしめむとの目的を以て暴動し事業從業員に對し暴行を加へたるを以て所轄龍岩浦警察署よりは警察署指揮の下に巡査部長巡査十五名出張し尚新義州守備隊よりも鎭撫の爲出兵したりと傳へられたるが今其異想を調査するに同地金鑛は大正五年六月七日京城の人にて閔敎鎬なる者採掘の許可を受けたる處同金鑛は揚市居住の張、文、李、金四姓の者の祖先の墳墓所在地に當り該鑛の採掘は此等百姓の者の墳墓損壞を爲すものなれば是非數回採掘さるべく交渉したる處閔敎鎬は之に應ぜず其内閔は死亡し其相續人たる某多數の懇請を容れず採掘したる爲同地方居住同姓の者二千餘名採掘場に集合し威嚇的に事業を中止せしめたる次第にして未だ暴行迄に至らざりしが折しも發火演習の爲行軍せる新義州守備隊の一隊も何事ならんとて同所に臨み一面龍岩浦警察署は此報を聞きて直に巡査部長以下十四名を派遣し尚加來龍岩浦署長も出張し集合せし群に對し解散を命じ其の四姓の者各發頭人たる者各一名宛を龍岩浦署に連行し目下取調中なり一面該鑛山主は採掘を中止することゝなしたるが兎に角同地方近來になき騷擾事件なりしと

◆一枚百圓は廉過ぎるとの仰せ

ギャリー氏夫妻の日本服の注文＝立給に秋草の亂れ咲き＝一反では足らぬ夫人の浴衣＝恐惶した三越の番頭君＝縮めて六反

合衆國の殆んど到る處に其工場を有し各所に鑛山、鐵道、汽船の經營をやり總資本金十五億弗（三十億圓）實際財産二十億弗（四十億圓）使用人二十六萬人、一年の製鋼高二千萬噸を出すと云ふ非常に桁の高い鋼鐵會社の最高幹部たるヂヤッヂ、エルバート、エッチ、ゲーリー氏は其重役會長であり同時に財務委員會の委員長をやつてゐると云ふのだから既報の様に旅中到る處

◇頗る贅を盡してゐるが朝鮮ホテルで猪原マネーヂヤーが或る晩羽織袴で出掛けると夫人が流石衣裳の事などには目敏く之を見付けて『貴方は其は洋服を著てゐたが此方が餘つ程よく似合ふ何故始終つけてゐないのだ？』と云ふ御質問でキモノが非常な御氣に入りなので『是れは日本服中での最も簡單なものだ』と貸浴衣を御一覽に供すると『成程是れは非常によさ相だ早速自分も造り度いから布地を取寄せてくれ』と云ふ注文で早速

◇三越に電話で交渉し極上の處を十數反見本持參に及ばせれば『綺麗だ事、何と云ふ綺麗なものだらう、慶に綺麗なものは阿米利加には見られない何故日本では此の慶のを阿米利加へ出さないのだらう』と非常な御意を得て早速『是れ』と選び出されたのは立給に秋草の亂れ咲いた一反であつたが何しろ身の丈から身のまわりから日本人などとは

◇段違ひの大女なので到底一反では造りきれないのでなく緒廻しと袖口とに別布をあてる事になつたが其れには白地に水遊の菊の模様の友染縮緬と云ふ御注文是れを側で見てゐたゲーリー氏は『我輩も一つ』と許り流石赤地は避けた様なもの、矢張り其處は阿米利加人好みとして到底も日本人ならばと思はれる様な華美な大柄なもので矢張

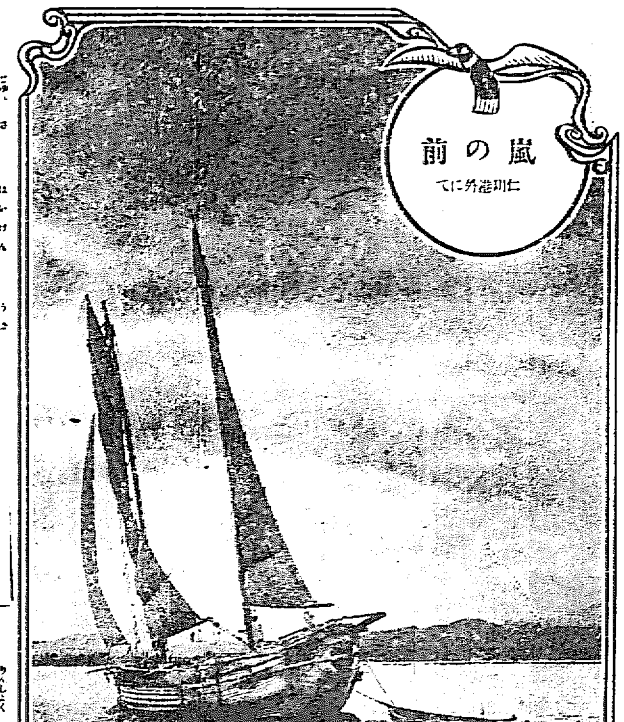
◇二反を一つの落物に裁つた。良人さへ造るのに夫人が一著ではとても思つたのか『私はもう一枚作ります』と六反三著の急仕立の御注文を受けた三越の番頭君ニコ／＼顔で引さがつたが其價は反三十圓前後宛の二百圓近いものであつたが『一枚の著物が五十弗かゝる』と聞いて『其りや安い餘り安過る』は流石鋼鐵王の御託だと一同只々驚き入るより外に仕方がなかつたと云ふ

ギャリー氏夫妻＝廿八日南大門驛にて＝

汽船衝突

●關門海峽にて

神戸大正汽船會社汽船關西丸（二千四百噸）は大阪より若松へ向ひ航行中二十八日午前三時四十分下關市外彥島弟子待にて小樽より村木を積み兵庫に向ふ途中なる乾汽船會社汽船大湖山丸と衝突し關西丸は船首を海岸へ伸し上げ船首を西に左舷に倒れたるが滿潮時に際し船體五分の二を顯はせり損害は目下取調中なるが大湖山丸は何等損害なし（門司特電）



嵐の前 仁川港外にて

●巡査の佩劍を奪はんとす

腸窒扶斯患者＝派出所へ躍り込みて大暴れ

廿七日午前四時頃釜山警察署の某巡査が巡回して土城町派出所に至り休憩中年齡五十歲前の男子入り來り『頭日自分の娘某の病氣は傳染病にも非ざるものを傳染病と稱し無理に入院せしめしは不都合なり』と威猛高に怒鳴りつゝ已に巡査の佩劍に手を懸けアワヤ刀をも拔かんず勢ひを示しければ兎も角佩劍の手を離させ一應說諭を試みんとせしも却々暴れて手に了へず怎やら熱病らしき模樣なれば取り敢へず傳染病院へ電話を懸け問ひ合せしに男子のチブス患者一名逃走して居らずとの事にさては此の男こそ正しく其れに相違なしと判明せしも益々暴れて仕末著かざれば詮方なく繩を懸け其の儘同病院へ送り込みしが名は緒方秀態と云ふ男なりと（釜山）

●中尉自殺

軍需品橫取嫌疑

濱田步兵第二十一聯隊附中尉河名爲一は二十七日軍刀にて自殺を圖りたるが仲々の重傷にて生命覺束なかるべし原因は軍需品橫取の嫌疑を受けたるに因れるが同人は平素品行方正なるも容體にして懸念深き男なりと云ふ（大阪特電）

●下關綿火藥庫燒く

下關市陸軍火藥庫第一號綿火藥倉庫六十坪は二十八日午前九時二十分發火し同棟を燒失同十時三十分鎭火せり原因は自然發火なるべしと云へるが目下猶取調べ中なり（門司特電）

●國境檢疫開始

汽車と船舶と

平安北道警務部に於ては今回の內地及び大連の虎列拉防疫に就きては甚大の注意を拂ひ本月二十二日衞生主任小林警部を新義州龍岩浦及び安東縣に派遣し調査打合すところあり愈々二十六日左記方法を以て檢疫を施行することに決定し關係官署及び管下隊署に通牒を發せり則ち汽車檢疫は停車時間の許す限り車內乘客の檢診を行ひ下車人に於ては內地其他のコレラ流行地を發し又は通過したる者の行先を確め其所在地に於て五日間注意視察を行ひ病者ありたるときは醫師をして鑑診せしめ適宜の措置をとる又海港檢疫は新義州龍岩浦に入港したる大連及び內地及び流行地を發したる乘客に對しては檢診を行ふたる者にあらざれば上陸せしめず碇泊中の各船舶と雖朝夕二回健康調査を爲し其の外市街地及び村落に對し豫防心得書を各戶に配附し衞生を施行し當分の內各受持巡査常に時々個人の注意を喚起し尙臨時清潔法の區別なく其受持區內へ檢病的戶口調査を爲すことに努力すること等を示し居れるが小澤警務部長は當部內は恰も關門釜山と同じく一步も油斷すべからざる位置にあるを以て部下を督勵し遺憾なきを期し居れりと

●全北大火

損害約二千圓

去る二十七日午後一時全羅北道淳昌郡茂林面月井里に於て一農家の溫突焚口より出火し三十九戶燒失し同四時鎭火損害約二千圓なりと

●割木で額を毆る

仁川府生れ當時江華郡佛恩面洽井里金仁培（二三）は去る二十三日午後四時頃自宅附近の酒幕に於て泥醉の揚句同所に來合せゐたる同郡良道面朝坪里石上□河野虎吉と口論の末傍に有合せたる割木を以て河野の眉間を強か打擲して休業治療二週間を要する打撲傷を負はせて告訴され二十八日起訴さる

●大虎に咬まる

去る二十五日夜全南谷城邑內を距る一里の地點に猛虎現はれ鮮人一名を咬傷したるより附近村民は大擧卷狩の準備中なりと

●檢疫の行り方が違つて來た

神仙臺の檢疫所が手狹なために

釜山港海港檢疫につき屢報の如く釜山警察署にては檢疫事務を益々擴張なし尤も嚴重に檢疫しつゝあるが何分にも朝夕連絡船により上陸する旅客一日三四十名を停留せしむる事とて神仙臺檢疫所にては其停留者を收容するに狹隘を感ずるに至り種々當局者間に於ては研究の結果從來發足地の時日を起算なし誰れ彼れの別なく五日間の停留を命じ居りしを廿六日より各々停留者の檢便を一回づつなしたる上何等病狀なく健康狀態たるものに對して期間滿たざる共目的地に出發せしむる事に決したり

●虎疫益猖獗

大阪は三百名 京都奈良蔓延

大阪に於ける虎疫は其の後勢益々猖獗にして遂に三百名に達したり猶京都府下にも二名發生し奈良縣下にも亦發生せり（大阪特電）

●東京郡部に虎疫頻發

三名眞性と決定

東京に於ける虎列拉患者は其の後千駄谷に一名南葛飾郡に二名を出したるが何れも眞性虎列拉と決定せり（東京特電）

讀者文藝

一口噺

◯處女飛行を見た 與太 處女飛行と云ふから女かと思つたら男が乘つて居やがらあ 義州城內 久住 松月

[illegible]

●賣掛代を橫領

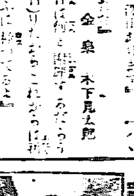
廣島縣御調郡木津村生れの齋藤國太郎（三八）は前科二犯の男なるが京城南米倉町□貨店北原某方に雇はれ中五月末より六月末迄に前後九回に賣掛代金約十圓を橫領消費し本町署に引致さる

●妓生の身代金

京城仁寺洞居住李致了（□）は元山妓生組合取締りをなし居れる際同地榮町朴昌連より京城にて妓生一名を抱ね入れ方を依賴せられ七月十六日電報にて妓生身代金として百二十六圓を騙取し其金を以て自分が妓生遊びをなしたること發覺し此程鍾路署に檢擧さる

▲講義全部完結 ▲會員募集
藥劑師受驗期迫る
▲藥劑師に非ざれば藥業に從事する資格なし藥業志望者は藥劑師となる近道
受驗者及通學生必備の寶典
藥劑師志望にて通學の餘暇なき人は入會せよ本會は充分其目的を達せしむ
東京藥學會
東京神田

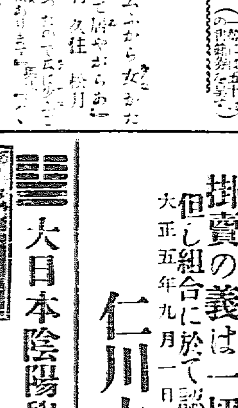
廣告
今般同業者組合規約に依り自今掛賣の義は一切御斷り申上候也
但し組合に於て認定者は此限にあらず
大正五年九月一日
仁川木材業者組合



大日本陰陽學會朝鮮支部新設
會長 吉田學明師
京城本町通り三丁目
大日本陰陽會朝鮮支部執事敬白

酒類買入帳及酒類賣上帳
紙質優美 小口百枚綴 一冊 金四十三錢
持越酒類申告用紙 百枚に付金廿五錢
來九月一日より實施の酒類販賣業者是非共設備の制定帳簿出來品有之候何卒御注文願上候
印刷と帳簿は
大養帳簿製造所
京城旭町二丁目 電話二七九番 振替口座一五九六番

明治公債株式會社朝鮮支店
▲外務社員募集
京城府東拓會社 電話一九〇八番（振替京城二五五〇番）



ナニハキヤラメル
今日本で尤も名高い滋養の多い風味のよい美味しい
一包 五錢 十錢 御進物 十五個入 二種
後から生れた精良品 一度召上ればスグわかる品質本位
製造元 大阪 浪速製菓所
特約店 釜山 ミトヤ商店
○京城、元山、木浦、群山、其他各地に特約店販賣店有升

鴨綠江材 青竹各種
セメント 日本木材
合資會社中村組平壤支店
無煙煉炭 日本石炭
撫順石炭 コークス
電話五〇一番

廿五日午後三時龍山本願寺にて盛大に執行されたり 遺品は軍帽一、靴二足と傘一本 京城仁寺洞百三

新羅丸より上陸客中神仙臺に停留せる者十六名 招倉新平、平本ふじの、田附はつの、後藤[illegible]

○廿七日午前入港さくら丸一二等客 △一等(十六名)中村禎、川村鐵太郎、黒川千春[illegible]

◎暑い頃日の 郵便局

△市橋仁川局長談

▼郵便事務 は暑中に入つたからとて著しい取扱數の増加を見ないが其れでも昨今は旅行先きから知人へハガキのたよりやらそれに一年一回の暑中見舞などがあるから局では其等の引受なり配達なりで可成に手間が取れる今一つは目下仁川府廳の第二期諸税納期間なので未納者に出す督促狀が夥しくないしかもそれは多く市區改正前の番地などが書かれてあつて配達先が不明であつたり轉居先が判然しなかつたりで中々手間の掛るものがある昨年の七月の増減高と對照して見ると引受の部では八八六通配達が九五二減といふ數字になつて居る

▼小包郵便物 は季節々々の需用などで內地邊りから品物が發送せられるが夏向を冬期に較べると大分少い、其は冬になると防寒具だとか或は新年用品又は歳暮用の品物だとかが小包便で移入されるが夏の贈答品は比較的簡略に用便せられ衣類の如きも當座の間に合はせといふ風になるからだらう

▼歐文電報 の取扱數は從來朝鮮では一番多かつたが目下外國人も非常に少くなり他の商取引も從來の樣に行はれないから戰爭開始前などに比して頗る少い次に和文の方は怎かといふに此方は別段變りはなく該文も大した事はない昨年七月より總數に於て發信六九受信六四九の増加である

▼爲替と貯金 昨年七月よりは受入が六千五百九十六圓二十四錢八厘拂出が九千二百五十圓三錢六厘增加して居るが此中には振替もあれば貯金もあり爲替もある振替は取引關係上大した增減はなく外國爲替は近頃殆んどないといつても良い位であるから貯金丈けがドシ／＼増加して行くそして局では此傾向に對し絕ず勸誘して居る尤も勸めるといつても個人にするのでなく團體に向ひ規約貯金といふ樣な工合に勸誘し其內規の如きものは局で作つて遣るなど諸種の便宜を與へて居るから希望者は最寄の局所に申込ばよいのである

▼電話 は八月一日の現在調によると加入者が六百二十五口あつて以前から少しづゝ減じた之は或は目下暑中商況が振はない關係からだらう普通加入者數は六百四十口程ある

□露西亞の民謡(2)

—ア、グロイツ氏稿の中より— 昇曙夢氏 山崎紙氏 共譯

△草原

一、草原に、くさはらに おゝこの草原に たのしいあたしの草原に

二、生へた、はへた 細いのやうな草が生へた 一面に細のやうな草が

三、咲いた、さいた 空色の花が咲いた 可愛い、空色の花が

四、その草で、その草で さうだ、妾は馬を[illegible] やさしい妾の馬を

五、引いて行かう、引いて行かう 妾は馬をお父さんの所に連れて行かう 妾の生のお父さんの所に

六、お父さんよ、お父さんよ 妾は來たのよ馬で ひとりで來たのよ馬で

◎學校生徒の獻金

釜山府內各小學校、普通學校生徒四千三百餘名は今回明治神宮奉贊の主旨を體し職員と共に獻金二百四十五圓六十錢を愛國婦人會朝鮮本部宛に送附せり

◎伊藤訓導逝去

昨年七月中[illegible]日出小學校[illegible]伊藤[illegible]氏は去る十五日[illegible]

◎前田旭心氏入京

[illegible]

婦人界消息

△井口ひろ子(井口陸軍中將夫人)二十八日午後七時五十分南大門驛より出發東上

△林ひろ子(女子大學校舍監)滿鮮旅行の途次二十八日午前八時安東縣より入京本町二丁目芙蓉館に投宿武氏方へ

△和田筐子(土地調査局總裁夫人)久しく別府溫泉に避暑中のところ令息令嬢と共に二十八日夜着の列車で歸られます

△關のぶ子(關繁太郎氏夫人)本月初旬より總督府在勤中のところ廿七日夜歸京されました

神社とお寺と教會

○西本願寺(若草町)二十八日午後八時より月例講演あり講師は光岡留學生の「自我觀」と題し常例學生の講演あるべし

たいどころ その日ぐらし

新牛蒡胡麻酢煮 牛蒡の皮をこそげて鍋に入れ、水を十分入れて米ぬかを一にぎり入れ落ぶたをし、やわらかに煮出てぬかを洗ひおとし再び鍋に入れだして味醂を加へて、中火にかけ、汁が半分位ぬきでになりし時に、鹽と酢を少しふり込み、いよ／＼火をおろす時に、白ごまを煎りてどろ／＼にすりたるを入れてまぶしつけすぐに皿に取り置く(脊木はつ子)

番茶のあとこ

先般秋口の涼しさになつた京城の氣候も此の二三日は大變蒸し暑くなつた△これは近來南支那揚子江の方面から度々低氣壓が襲來するので著しくわれ／＼に暑く感じるが二十七日は最高九十二度で例年とあまり大差はない△これからはだん／＼涼くならう△金剛山にはどうも「まむし」が多い、叢や林の中はうつかり歩かれぬとのはなし

圖 蝦蟇庵主人御自慢の朝顔

◇朝顔培りで有名な大道具氏の家は此の春以來櫻井町二丁目に引越した◇豌豆の葉のからまつた黑塗門の表札には、守田德と記した隣りに「蝦蟇庵來訪の墨客は、黄金公の方向につきあたり右に弓なりの路を左にとられ、水道栓を左に見て奧のまた奧の朝顔式やれ門をトントントン、」然る時は中から犬がワン／＼、「庭主」と記してある◇家は異樣な構想で廣い庭には千紫萬紅めざむる許りの花畑で◇可愛らしい棚に[illegible]のもブラりと下りた糸瓜の葉も、何れも主人の趣味を物語つて居る◇朝の七時過ぎからの來訪では、わり／＼かいの一番のお客様だらう」といへば◇古朝顔はすでに第三號だ◇と、色の黑い主人は恐縮るやうな大きな聲ではなす◇蝦蟇庵自慢の朝顔は鉢に數十種もあつたがそれが何れも珍品揃ひ◇朝顔は毎年一つの種から數百種の實を摘いて、其の中に面白い珍品が生れるとの事◇先づ其の價値を定むる標準は葉と、花の色と、花の形態とであるといふやうな談しから「此の朝顔は帝の鉢形抱の爪龍葉で、色は紅の覆輪に、形態は總風林獅子にといふのです」と主人のはなしはなか／＼むつかしい◇兎に角獅子のやうな葉もあれば、桔梗のやうな花もあり「これでもお前は朝顔か」といふやうな珍品ばかりであつた

商況

東京株式特電 / 債券現物特電 / 公債直取引 / 深川在米特電 / 東京期米特電 / 大阪株式特電 / 大阪三品特電 / 大阪期米特電 / 下關期米特電 / 經報

●銑鐵の其後 値は比較的印度鐵の影響を受くること少き爲め歐洲方面とは五六圓の高値に居据り殊に昨今に至りては約三倍を示せし本品も英國の輸出禁止に代り印度及び濠洲方面より輸入するものも増加せし爲め氣配漸く軟化し現在一噸當り十圓內外の安値[illegible]

●白絞油漸騰 原料たる菜種の不作と支那菜種の價格騰貴とを悔へ延いて一般油類にも影響を及ぼし此白絞油も昨今の如き十二圓賣[illegible]徐々相場の引締[illegible]

●小麥は軟弱 [illegible]八圓見當[illegible]

京城雜穀 / 京城正米 閑散不味 / 天井を突き 約二倍の增收 / 輸出と露國軍需米

利 仲買店 仁川米豆取引所仲買人

前場の手振り / 投げ一順 月末關係と / 目先小相場乎 / 戰裡に大商內大混 / 無事平穩に納會

市場零聞 / 前場保合 / 二十八日前場 大阪天候曇 / 錢と變り移りに三十八 / 仁川期米 / 生魚市場 / 釜山市場 / 三巴仲買店 / 南大門の週穀 / 仁川現物市場 / 下關相場 / ●綠豆は區々 / ●胡麻は持合 / ●生果類又々不勢 約二割方の低落 / 安値限先或は一

北濱だより 擇擇買人氣

仁川米豆取引所 二十八日の十月限

▲能く賣る / ▲三人の賣り / ▲①日④の買 / ▲今硬化說 / ▲無事納會乎 / 五萬石餘に又復買越 / 根底の薄弱 / 種々な說 / 聯合の俵括り / 投げ盡し腰弱連中殆んど

▲廣告▼

◎移轉 性相鑑定は從前の通り一般の依頼に應ず 永樂町二丁目(電話弐參參番) 東京性相學會朝鮮支部主幹 隈本修平

◎夏物紺セル洋服 鐵道局拂下品 一等無キズ品 壹組參圓五拾錢 二等品 壹組貳圓五拾錢 三等品 壹組壹圓五拾錢以下 其外雨覆日覆用携帶天幕 雨合羽冬絨洋服外套類 和洋服商 龍山元町二丁目 金子與市商店 電話一〇五番 振替京城三八一三番

◎奇術界のクイン 天勝孃一座 今回內外至る處に於て大喝采を博しつゝある松旭齋天勝一行露國よりの歸途櫻座に於て最も嶄新奇拔なる大奇術「サロメ」劇等を開演仕り候條陸續御來覽の榮を賜らん事を 八月廿七日 廿八日 廿九日 三日間 平壤 櫻座 興業主任 山本貞次郎

電話增設百〇五番 大暑の砌益々御隆盛奉大賀候小店儀御陰を以て日に增し隆盛に趣き候事全く皆樣の御愛顧の賜ものと深く奉謝候尚今後は一層勉勵の上御厚意に酬ひ度就ては從來の店舗にては狹隘にて兎ても御注文に應じ切れず候故今回岡崎町練兵場前に廣大なる敷地を買求め目下工場新築中に付落成の上は完全なる工場の設備と老練なる職工を以て專心鑛山用諸機械及工具排水灌漑用喞筒を專門製作可仕候間不相變御引立の程奉希上候 鑛山用諸機械工具 排水灌漑各喞筒 直輸入製作販賣 京城南大門通五丁目 中根商會 電話長一〇〇四五番

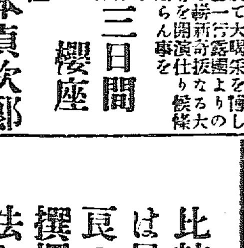
登錄商標 味噌 直段表送呈 白赤金千味 噌 寺味噌 山味噌 大阪天滿壺屋町 製造元 大米味噌本店 電話東一七七一番 振替大阪二五七九三番

くすりは山岸 諸官衙御用達 洋藥 賣藥 卸問屋 醫療及試驗器械 懇切叮嚀迅速確實に市內配達及び地方通信販賣致居候 京城本町一丁目郵便局前 山岸天佑堂 藥品部 器械部

入院隨意 京城永樂町二丁目(商品陳列館裏門通) 酒井婦人病院 電話二六〇一番

株式會社 朝鮮商業銀行 資本金五拾七萬五千圓(全部拂込濟) 諸積立金二十四萬百圓 京城南大門通一丁目 電話五五八番 一般銀行業 倉庫業 銀行長 趙鎭泰 支配人 豐田明敬 南大門支店 本町支店 仁川支店 平澤支店 東大門出張所

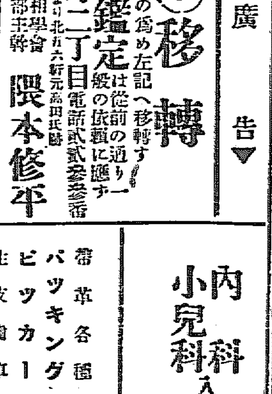
比較は最良の選擇法なり!! サクラ正宗



サクラ正宗 京城明治町二丁目 山邑京城支店 電話四一八 四五 九四 振替京城五七

營業品目 肥料部 蒸製骨粉、乾血、鹽角粉 星印配合肥料、細工用地骨 細工用蹄角各種膠及膠原料 石鹼部 化粧用石鹼、工業用、家庭用石鹼、浮石鹼、粉末石鹼 牛脂、椰子油、鯨油、其他油脂類、苛性曹達、洗曹達 京城東大門外薪菜町 朝鮮肥料製造所 電話二六三五番 京城阿峴里一四番地 朝日石鹼製造所

品質保證 在庫豊富 帶革各種 パツキング ビツカー 生皮齒車 綴革紐金具 其他工業用諸革 朝鮮總代理店 白神洋行 仁川本町四丁目



內科 小兒科 入院隨意 京城明治町(元善隣學校跡) 中島醫院 院長 中島貞信 電話三七八番

宮本武藏

第百四十三回

桃川如燕口演
浪上義三郎速記

益田四郎が天草島へ渡りました時に一人の隱士に出合ひ、此人から切支丹の法術を授かりました、流布の傳說に依ると一人の仙人が山に住んで居て四郎時貞に飯綱の妖術を授け、歳十五になるまで手許に置いて育てゝ居りましたが四郎が國へ歸りたいといふので仙人が『仙『今國へ戻ると究竟の禍がある、強て歸りたくあれば據ない、少しの間眼を塞いで居るやう』といつて四郎に兩眼を閉させ、暫時あつて『仙『モウ宜いから眼を明け』といふから眼を開いて見

ると何時か家の前へ佇んで居りまして件の仙人は影も形も見えなかつたといふが甚んな馬鹿な話はあるものではない、全く天草島に住んで居りましたのは高山右近太夫友祥の浪人で毛利宗意軒といふ人物、此宗意軒が切支丹の法術を使ひました、切支丹といふのは天主敎の事で何も妖術といふ譯ではないが何分未開の時代でありますから不思議な事をするものは切支丹だと解釋して了つた尤も今でも老人などは活動寫眞を魔法だと思つて居る、未だ分らない人間が多くあります、先年講演者が秩父の山の奧へ參りました時に種々話をして世の中が開けると電信電話は申すに及ばず、飛行機で空を飛ぶ事も出來れば海の底へ鐵道を敷設ことも出來るといつて話をすると什麽しても本當にしない、其麽事は出來るものでないといつて承知しない、其れから私が丁度携帶寫眞機を持つて居たから撮影して見せた、スルと私を魔法使ひだといつて村中の騷動になつて遂な其晩追拂はれた事がありました、今時馬鹿々々しいやうだが之れは全くの話で、況して三百年の昔の事ですから外國からバテレンなどが來て幻燈か何か見せたから解の分らない愚民が一度で惑いて了つて、切支丹といふものは魔法だと信じたものも無理は愚民ばかりでなく公儀の役人まで切支丹の妖術を恐るなぞといふやうになりましたが、今から見れば馬鹿々々しい話で、併し其の解の分らない愚民を幻燈だの西洋手品で迷はして切支丹を信じれば立所に望む所の金銀財寶は得られ、水火の災を免れ無病長壽にして死ぬといふ事はない、或は空中に立ち或は海上を歩み千變萬化の不思議を顯はすことが出來るなどいつて欺むいたものと見ゆる、毛利宗意軒といふ人物は高山右近太夫友祥の一族でヒヤヒエルパテレンといふものから此法術を授かり盛んに手品を使ひました可なり功のあつた人だが後豐臣太閤が友祥天主敎を信ずるといふ事を聞いて大いに怒つて遂に流罪に處しましたが此人は羅馬へ赴いて彼地で了つたといふことであります尤も此時分には高山ばかりでなく伊達政宗でも大友宗麟でも有馬晴信でも有名な大名は大槪天主敎を信じて居た、仲にも有馬晴信や大村丹後守純忠は娘や姪を羅馬へ遣はして法王の妻妾にした位ゐ、一時は大した勢力でございました、其後太閤が之れを禁じ、家康に至つて愈々之れを悄くみ、遂に法令を下してまでも天下の大禁といたしました、初めは勿論反逆などを企てる積りではなかつたが、幕府で堅く禁じたゝめ反動として今でいふ宗敎運動といふやうな事をした、所へ關ケ原大阪兩度豐臣家へ恩顧を含んで居る浪人が鬱勃はつて遂々大騷動を起しましたものであります、ソコで前申上げた毛利宗意軒などいふ人物も天草島に隱れて窃に時機を待つて居りましたが此島は東は島原熊本、西北は長崎、南は薩摩を望み、西南は漫々たる大洋で鬼界が島も遙かに見ゆる、洵に要害の地で其れで人里離れて居りますから浪人などが身を忍ばせるには究竟の土地であります、毛利宗意軒と志を同じくする者に千束善左衞門、大矢野松右衞門、大江源右衞門、天草玄札、赤星宗件、といふ五人の浪士がある、之は皆小西の浪人で何れも主家再興を心懸けて居ります、所へ益田四郎が叔父に當る天草玄札を訪ね來たのを毛利宗意軒が一目見て大に喜び、此少年こそ事ある時の大將と賴むべきものと見込を付け、遂に玄札から時貞を借りて切支丹の法術は固より天文地理の秘奧殘る所なく傳授いたしました

入院隨意
京城南大門通三丁目(藤本商店裏入る)
円腸病院
電話一六三九番
院主 佐々木杏造

京城本町一丁目
杉本耳鼻咽喉科醫院
電話一二三〇番
醫學士 杉本砂一

八月三十日九星
舊八月二日 巳 亥
本命 四緑 暗 不 先負

▲四緑 下坊にゆかぬ事有る日新事見合北方は吉 ▲五黄 力を貸して損となる事有る日 ▲六白 平運の日午前不印午後は吉新事手控へ ▲七赤 依頼事は吉女子は行儀を守らるべし ▲八白 争事有る日新事手控へ ▲九紫 願望の日 ▲一白 愉快の日 ▲二黒 一寸閉口する事有る日 ▲三碧 繁榮の日

演藝案内

黄金館 電話一八五二(階上) 二六三七(階下)
天然色活動寫眞株式會社朝鮮一手代理店
八月二十四日より特別大興行 ○新派大悲劇「松葉時雨」全三巻 ○大冒險大活劇「名金」第十三編 ○義士傳「中村勘助切腹」

御成座 電話一九一
新派中村榮一行

黄金館
初日以來引續滿員
毎夜八時札止め溢るゝ斗りの人氣
▲天下一品奈良丸式活動寫眞
▲大冒險大活劇第七名金第十三編第十四編
▲義士傳 中及傷より……田村邸切腹まで
新派連鎖劇 松葉時雨 全三巻
吉田奈良丸 奈良勝口演
卅日限り日延は致しません

大正館 櫻井町 電話八七三
日本活動株式會社全鮮代理店

りん病七日藥
慢性淋病 急性淋病 女子淋病 膀胱加答兒 睾丸炎 尿道狹搾 主治
三日デ治ッタ七日デ治ッタ嘘カ誠カ試シテ見レ 詳細通知ス
大阪市堺筋周防町南入 山口龍三郎

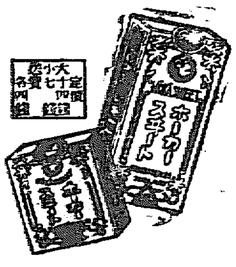
ルーデサック 衛生必携品
A十個四十錢 B十個六十錢 壯五錢女用一個八十錢 壯個以上一割引
郵券代用一割增外に要送料
京城黄金町三 振替京城三二七番 山田文殊堂藥房

電話一五六七番
旭町一丁目(京城府廳前)
株式會社 京城葬儀社
二川屋事 中河原重吉 井上芳太郎
靈柩馬車設備あり 電話九五七番

鎮海巴町
青木古物店
何でもある安價注文を乞ふ

召上がれば血となり肉となる滋養菓子
ホーカースヰート
定價 大七十錢 小四十錢

ホーカースヰートは麥の主成分に新發見の滋養原料を加味し更に古來有名な眞正朝鮮人蔘を應用精製してありますから品質優良に滋養分の豐富なる事他に比類なく味はひも亦頗る上品で常に召上れば
■咽喉を整へ、香聲を美しく
■胃腸の調和を好くし
■心氣爽快に元氣を恢復し
■小兒の身體を强壯に致します
到る處の和洋菓子店、食料品店、雜貨店、小間物店等に取次販賣す品切の節は直接本舖へ御注文を乞ふ
東京神田和泉橋
本舖 堀越嘉太郎商店製藥部
振替口座東京二四一八番



滋養强壯料

芳香醇良なる本邦産天然葡萄酒を基礎とし完全なる吸收性及同化性を併有せしめたる
◎ミツワ規那鐵葡萄酒
技師 松和健彦

香味色佳良滋養力偉大
健胃補血興奮作用卓絶

MITSUWA QUINA-IRON WINE.

Mitsuwa Quina-Iron wine is made after a thorough scientific investigation, is absolutely free from defects found in general tonics on the market: contains the two powerful specifics; Quina and Iron in exact doses dissolved in a wine of matchless quality: is very delicious, fragrant, invigorating, and perfectly absorptive and assimilative.

As a tonic for persons of weak constitution or in diseases of anaemic or of debility, in weakened digestions, etc., it is unrivalled.

Price ¥ 1.50

規那、鐵、葡萄酒は各健胃、補血、興奮作用の三者なるが此三者を配合して所謂規那鐵葡萄酒となし、殊に之を容易に且愉快に用ふることを得て、何れも確實に消化吸收せらるゝことは既に公知の事實に屬す……一般病後の虛弱、貧血、衰弱、精力增進を欲する場合に推奬すべき家庭必需品なり。

定價 一瓶金壹圓五拾錢

▼如斯人は滋養强壯料◎ミツワ規那鐵葡萄酒を適用すべし▲
一、顏に貧血して居る人
一、營養の不足なる人
一、顏の色蒼褪め艶の無い人
一、生來虛弱なる人
一、是と云ふ病は無くても何となく弱く感冒に罹り易い人
一、手足が冷えて寢つかれぬ人
一、やうな體質の虛弱い人
一、身體の恢復創けて居る人
一、産後や病後の衰弱を早く回復したい人
一、食事の進まぬ人
一、勉强又は勞働して疲れた人
一、精神や筋骨の疲勞を速に回復したい人
一、精力が減り元氣の無い人
一、腺病質ち瘰癧に罹つて居る人
一、肺結核や腸結核其の他結核性の病氣にて發熱の永く續いて居る人
一、下痢の永く續いて居る人
一、神經衰弱に罹つて居る人
一、陰萎や遺精など生殖器の衰弱に惱んで居る人
一、ヒステリー俗に謂ふ血の道に襲はれて居る人
一、ヒポコンデリー俗に謂ふ心氣病に苦んで居る人
一、萎黃病など血液の病に侵されて居る人

▲賣捌 全國到る處の洋酒食料品店。藥舖。雜貨店▼

ミツワ石鹼
ミツワ家庭藥
肝油ドロップス
發賣元 ◎ 登錄商號
丸見屋商店
東京市日本橋區橋町四丁目
藥劑、滋養品、石鹼、香粧品、小間物問屋
電信略號◎ミヤ……振替口座東京七一〇番
營業部電話浪花三〇・四四八・四四九・四五〇番

代理店
洋酒、食料品、煉乳、賣藥 化粧品、雜貨、直輸出入商
大阪市東區高麗橋貳丁目
松下善四郎
電信略號 マツ七 電話本局 一八五 振替口座大阪一〇六番

(商品實寫圖)

汽車 (時刻表 — [illegible])

京城日報
第三種郵便物認可
大阪期米
廿九日朝刊（夕刊と合せて八頁）
發行兼編輯人 奥田直毅　印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通一丁目 京城日報社

京城日報
巴爾幹の聯合軍

歐洲戰況は、東西兩戰場に於て、聯合軍は依然有利の位置にあり。卽ちガリシヤ、リガ、アルメニア、メソポタミヤ方面に於ける、露軍形勢の頗る善良なると共に、佛國境に於ても、ソンム、イープル地方に於ける英軍の奮鬪あり、ベロンヌ、シャンパーニュ等に於ても、佛軍は常に攻勢を失はず、ヴェルダンに於てすら、最早獨軍は、新攻擊に堪へざるの狀にあるも、獨墺軍は何ほ東方戰場に於ては、露軍の正面に對し、約二十六七箇師團の增援を爲したるもの丶如く、西方戰場に於ても、何ほ依然として、百二十二箇師團の、兵力を保持しつゝありて、東方はヒンデルブルグ、西方は獨帝自ら其の總指揮官として、極力聯合軍の躍進を、阻止せんとしつゝあれば、聯合軍は東西兩戰場に於て、未だ遽に、決定的の勝利を望んことは、到底困難なるべき情勢に在りと觀るを、遺憾ながら至當とすべし。此の秋に當り、巴爾幹に於ける聯合軍が、近時刮目すべき、新活動を開始しつゝあるは、洵に重大なる意味を、含み居れるを憶ふ。

曾て外電は、最近佛國首相ブリアン氏、陸相ロック將軍、總司令官ジョッフル將軍等は、英國陸相ロイドジョージ氏、モーリス將軍等と、某地に秘密會同して、一般方略を凝議したる事を、吾人に報せり。而も其の會同後、十數日にして、遂に巴爾幹聯合軍の、新なる活動を見るに至りたるは、聯合軍が、全戰局の決勝を、寧ろ近東方面に於て、求めんとするにあるかの觀なくんばあらざる也。

今やサロニカには、英軍約二十萬、佛軍約十萬、塞國皇太子の率ゆる塞國の精鋭十數萬あり、加ふるに、數萬の露軍、並に伊太利數箇旅團の到着ありて、總勢五十萬を下らざるべく、之に對して勃牙利軍は、獨墺軍及び土耳古軍、各若干の增派を得て、兵力四十萬と算せらる。而して聯合軍は、最近ヴォデナ方面の勃軍に對して攻擊を開始し、之を北方に驅逐して、プレスパ市を占領し、更に希臘北方に大に戰はんとす。然り而して聯合軍の、此の作戰たるや、此の擧を以て、希、羅兩國を奮起せしめて、勃軍を擊破し、土耳古は無援孤立の窮境に立たしめ、以て巴爾幹の形勢を轉回し、獨墺唯一の活路を閉塞したる後、徐ろに獨墺包圍の作戰を完成せんとするの計畫には非ざるか。此の意味に於て見る時は巴爾幹兩軍の戰況は、最も重大なる意義を存し、其の勝敗は、直に全戰局の推移に、多大の影響を及ぼすや言を俟たざる也。

然れば此の秋に於ける、希、羅兩國の出所進退は、實に兩軍の興亡に關する、最も重大なるものあり。六十萬の軍隊を有する、羅馬尼が、態度久しく曖昧裡に、不卽不離を持し來りたるも、先月末、聯合軍側との間に、愈々參戰の密約を締結せりと傳へらるゝや、獨逸は狼狽、ビューロー公を走せて、其間大に爲す處ありしも、羅國の態度は其後一變して、獨土兩國に對し穀類の供給を拒絶し、墺勃國境に兵力を集中し、歸休兵を召還し、鐵道材料を徵發する等、參戰準備に、着々たるものあるが如し。されど未だ其の態度は、鮮明ならずと雖も、最近獨紙フランクフルテル、ツァイツングの報ずる處に依れば、羅國政府は、外交上の文書を携へ重要使命を有する密使を、英佛二國に遣れりと云ひ、而して同紙は、此事實を以て、羅馬尼亞局が、一轉機に近づける、象徵なりと斷定せり。依之觀是、獨人側に於ても、羅國の態度一變を、已に認めつゝあるのと謂ふべき也。然れ共羅國が、顧慮する處は、兵器彈藥品、補給の點に在るもの丶如ければ、聯合軍側にして、進んで其の任に當るを得ば、最早羅國の蹶起は、疑ひの餘地を存せざるかの觀あり。果して然らば、最近勃牙利軍が、フィーベトラの要塞を砲擊し、司令官を戰死せしめ、セレス市に進擊せし、其の橫暴に憤慨しつゝある希臘も、其の輿論の大勢は、遂にグーナリス氏の外交をして、結局獨墺に對して、劍を拔くの止を得ざるに至らしむべし、斯く觀じ來らば、巴爾幹に於ける、聯合軍の新活躍は、更に重大なる、徹底的の意義を藏するもの丶如く、今後の形勢や大に刮目に價すべし。

經濟資料
朝鮮の陶器工業（一）
＝實際的經營の一方案＝

茲に揭載するは朝鮮總督府中央試驗所技師孫勇三郎氏が京城商業會議所の爲めに意見を發表せるものなり、有益適切の參考資料として本欄に收む

曩に京城商業會議所月報第三號紙上に於て概括的に半島の全般より陶磁器業經營の將來極めて有望なることを略說したりしに圖らずも有志者の間に意外の注意を喚起することを得たるは予の感謝するところなり。今や半島の工業界は空論の時代を去りて實際的經營の時期に入れり、敢て菲才を顧みず再び本紙上に於て經營の一方案に付きて略述せんとす斯業に志す人士の一參考資料たるを得ば幸なり。

□工業中の難工業

陶器の製作は諸種の工業中至難の事業なり卽ち素地並に釉藥の調合、形態並に模樣の考案、形態の作製、繪畫の描寫、釉藥の施し方及燒方等何れの技術を問はず總て人間一代の業務として專心之に從ふも尙能く其技に通達するを得ざるなり、而して陶土の破碎より一個の製品を得る迄には以上の如く各種專門技術者の手を藉り諸般の工程を經ざるべからざるが故に、例へば若し素地の製作を爲すに當りて其の原料たる陶土の質の如何に拘らずして調合し分量を誤るが如きことあらんには、他の工作に於て如何に苦心し完全なる製作を爲すとあるも、目的物たる製品は完全なるものを得る能はざるなり、卽ち各部分的の工作に於て總て完成し始めて完全なる製品を得るに至る。斯くの如く陶器の製作に當り若し一部分の工作に於て失敗する時は全部不成功に終り營業上多大の損失を招くを以て其の經營たるや甚だ困難なる事業に屬す。然れども一害の存するところ必ず共處に一利あり、經營の困難なる本事業は他の工業に於て市場容易に自己の競爭者を見出すことあるに反し、其經營にして相當の順序を得るに至らば競爭者の出現を見ること少く比較的容易なる市場獨占の利益を有す。

□輸出と大經營小經營

他の工業に在りては單に原料の誰にして販賣するも比較的高價にして有利なるもの多からざるも陶器の原料は土石にして、其の燃料も亦薪、石炭なるが爲め之を外國に仕向くるには徒らに高率の運賃を要し採算に合はざるもの多し、陶器製造事は此等廉價なる原料を以て高價なる製品を作り外國に販出し利益を得んとするものなるが故、勢ひ其の賣上高の大部分は工賃及び運賃にして、殊に少しく精巧にして美術的の製品に至りては工賃に於て最大部分を占められ、一般工業中工作上の賃金に於て利得の最も多大なるもの丶一なり。斯くの如く本事業は其の原料並に燃料に於て極めて低廉なるが爲め、性質上經營の困難なるに拘らず僅少の資本を以て不完全なる經營を爲すもの古來其數少しとせず。然るに此の種小經營者に在りては十分の學術經驗を有する高級の技術者を傭聘し完全なる設備に依りて製造すること能はず、自然に大規模の經營者に壓倒せられつゝあり、卽ち泰西の窯業國に於ては巨資を投下し工場組織に依り、機械器具、陶窯其他完全なる設備を施し、優秀なる技術者を傭聘し、併せて又多數の熟練なる職工を置けり、從て行々多數の優良なる製品を出し、世界の市場を風靡しつゝあるは我が國民の羨望に堪へざるなり、然れども我が國に於ても輸出用陶磁器類の製造所たる京都の松風合資會社、名古屋の日本陶器會社、名古屋製陶所、金澤の日本硬質陶器會社其の他に於ける如き大資本を以て優秀なる技術者を招聘し改良せる多數の陶工を擁し完全なる設備を有するところに於ては良好なる製品を出し、盛に泰西諸國に輸出しつゝあるは多少人意を強からしむるものありと雖も、其の他多數の個人組織の陶器製造業者に在りては技術より見るも、設備に於ても極めて不完全にして爲に製品の粗製を免れず、到底他の文明國に對し世界的競爭を爲すこと能はざるの狀態に在り、卽ち今後我が半島に於て本業を以て大に國益を計らんとするには大資本を以て十分の設備を爲し、國內有數の經驗に富み學術を有する技術者を傭聘し大規模の工場を作りて製造を開始するを以て最も成功に近き方法と爲さゞるべからず、而して大に製品を海外に輸出し輸贏を世界市場に爭はんとするには或は親しく外國の市場を視察して賣行良好なる物品の精査を爲し、又は本邦にて製作する能はざる機械器具の購入を爲さゞるべからず、斯くして製品の齊一を圖り、大口注文に應ずることを得るの大設備となし、或は彼等の嗜好用途に適する樣製品の改良を圖り以て海外大商賈の信用を得、安全に而も確實なる事業の進展を圖らざる可らず。

武藏の高麗郡

東京より秩父郡大宮鄕への街道に當り飯野町なる一邑あり汽車にて甚かば飛行機にて名高き所澤より武藏經道に乘換へれば可なり、同所は明治二十九年入間郡に併入されしも本名は高麗郡と云ひ入間川及び高麗川の水源にありて飯野町を其の首邑となす背史を按ずれば靈龜二年駿河、甲斐、相模、上總、下總、常陸、下野の七箇國の高麗人千七百九十七人を武藏國に遷し入間郡の西南を割きて高麗郡を置くとあり之れ同郡の創始なるべく之等高麗人は何れも日本への歸化人にして卽ち我元正天皇の二年新羅朝を統一して聖德王の十四年なりとされば同所には高麗時代の遺蹟多く郡內新堀村聖天院境內には高麗王の館跡及び墓碑等もあり今も猶ほ高麗人の遺風を止むるもの多く此の附近の小兒等を見るも其の風貌容姿が一見高麗人の血液が今猶此地方人士の間に脈々たるを知るを得べし飯野町の高麗川に沿へる處に諏訪神社とて竹を建て茅を以て六尺位の高さに葺ける祠あり高く注連を張りたる奧の稍高き處に御幣を置きあるが若し神社を改築せば災害ありとの迷信ありて何時も茅の祠より改めずと祠の後方に類堂あり古來の遺風を存し祠の中には五寸位の布の端れ殘に紙り出しと稱するもの澤山納めあるは朝鮮にて機の織端を佛閣等に納むる風習あれば其と同一の處は矢張之れも高麗の遺風なるべしと思はる（完）

日報歌壇

黑木間茶月（平北昌城窰峴に拉みて）

國境の古き都の跡訪へば壁こぼれて見る影もなし

鴨綠江、鴨綠江と口誦み來りて見れば何事もなし

江岸に望樓を建て月の夜を君と語らばや遣る瀨なき身ゆ

今しがた瀟洲の野に陽は入りぬ羽音を立てゝバッタ飛びけり

大阪期米
▲下寄跡戻す
▲（上）能く買ふ
▲（下）能く賣る
●天氣豫報追報 曇り後晴

資本金 貳千百五拾萬圓
積立金 九百六拾五萬圓
京城本町二丁目（振替貯金京城一一番）
株式會社 第一銀行京城支店
頭取 佐々木勇之助
銀行一般の業務は確實を旨とし精々御便利に取扱申候
內地朝鮮並に歐米樞要の地に爲替取引先有之候

通俗世界歷史
大判洋裝製本 每冊四拾五錢

文學士 坂本健一君著
第一編 英吉利帝國 新刊
2 獨逸帝國 3 露西亞帝國 續刊
東京本町 博文館
立憲の國、自由の民、而して海洋の外烟波の中に冒險の偉動を遂て商利の帝業を創めたる英吉利よ。これわが同盟國である。吾人は英吉利を知らねばならぬ。世界第一の富强國としても、わが同盟國としても英吉利歷史の一端にはわが國民の知るべき所以である。況や英吉利は今現に兵敵と戰ひつゝあるに於て、更にその要求を感ずる。此著はまづ英吉利より始まる所以である。

▲日鮮人受驗者唯一の指針▼
朝鮮 諸官廳 受驗講義錄
國語、會話、作文、漢文、歷史、地理、算術、法學通論、行政法講義、現行朝鮮諸法規、各官衙學校試驗案內等朝鮮諸官廳受驗參考科目一切網羅シテ剩ス無シ七冊ニテ完結、全部完成定價九拾錢送料十二錢、全部ニアラザレバ需メニ不應來ル九月擧行セラル、日鮮人文官並官試驗ノ唯一ノ指針ナリ
朝鮮京城旭町二丁目（朝鮮雜誌社內）
朝鮮文學會
電話一千二百五十番 振替貯金京城一一九二

預金利子引下廣告
九月一日ヨリ左ノ通リ利率改正仕候
定期預金 年六分
當座預金 百圓ニ付キ日步九厘
小額預金 同上一錢四厘
大正五年八月
忠北道忠州
株式會社 漢湖農工銀行忠州支店

新刊書御案內

書名	著者	定價
圍碁 襲擊戰法	瀨越四段	六〇
圍碁 互先布石攻合法	中川龜三郎	二〇〇
新訂 哲學辭典	朝永三十郎	二五〇
心靈の修養	宮川經輝	一〇〇
通俗世界歷史 英吉利帝國	坂本健一	四五
獨逸の膨脹	海東水交社發兌	一三〇
綴り方教授の根抵	飯沼賢太郎	九〇
朝鮮諸官廳受驗者必讀 法律問答	阪上綱吉	四〇
同 法律講義	同	特七五
同 朝鮮行政法規大意	安達大壽計	四〇
同 會話譯文速成	同	四〇
母と子 下	佐藤紅綠	九〇
のこぼとけ	久世勇三	九五
師範學校中學校高等女學校 教員檢定受驗案內	東華堂發兌	六〇
星の歌舞伎	泉鏡花	九五
藤村文集	島崎藤村	六五
新アラビヤンナイト	三上範造	九五
人情學	青柳有美	七五
英和工學辭典	丸善株式會社發兌	一二〇

大阪屋號書店
京城本町 電話二八〇六 振替京城二五三七

蘇峰學人解題 市川鶴鳴原著
帝範臣軌國字解
三六版布裝 二百五十頁 定價五十錢 郵稅四錢
抑も帝範は唐の太宗貞觀二十二年、帝親ら撰して太子に賜へ、以て帝王の懷範を垂示し、臣軌は則天武后垂拱元年、后自ら撰して人臣の軌法を示したるものにして、倶に是れ盛唐帝后の親製する所に係り、後世範軌の雙稱として君臣鑑戒の明鏡と爲すもの、洵に所以ある也。而して此の國字解の特色は、其の解釋簡明精確にして、而も要領を得たるは、鶴鳴の其人が獨自の識見を以て、其の解釋を日本化したるに在り。之を讀む者は、恰も羅萬卷、貫千古の通儒の講義を聞くが如く、書中難解の文字に一々句讀を施し、特に卷首には蘇峰學人の解題あり、帝範臣軌の眞價を遺憾なく闡明したる妙あり、普通國民讀本と稱するも過當に非ず。本書は單に帝王の政者の鑑たるのみならず、何人と雖も必ず一讀す可き良書也。
發行所 東京市京橋區日吉町 民友社 振替口座一三一〇〇
大賣捌所 京城太平通一丁目 京城日報代理部 振替京城三〇〇番

日韓書房
新版報告
片山正雄著 獨逸文法辭典 定價貳圓八十錢 送料十四錢
佛國アル少佐著 獨逸の膨脹 定價一圓二十錢 送料十二錢
金杉遠山著 體力衞生 無病生活法 定價一圓二十錢 送料十二錢
千葉鬼村著 新選 子規句集 定價六十錢 送料八錢
朝鮮總督府 普通文官見習雇員 試驗問題及解答 定價六十錢 送料八錢
京城本町二丁目

國產サッポロアサヒビール
▼誠意を以て愛飲家各位に御注意▲
一點も非難の無い
これ吾人の元氣を爽快にする
天來の美味なり
■盛夏飲料としてのビールは冷藏庫又は水に冷す爲めレッテルが剝げて種別が分りません
■御家庭以外にて御注文の上召し上る際は麥酒瓶下部の社名及王冠頂上の社印に御注意を願上ます
大日本麥酒株式會社京城出張所
▼誠意を以て愛飲家各位に御注意▲

朝鮮總督府決定消毒藥
アイゼル液
無比の防臭作用と殺虫力を併有す
各地藥店にて販賣

◎對支交渉條件消息

鄭家屯事件對支交渉條件に就き或る方面より漏洩せる消息に依れば其の内容は至つて平易にて(一)暴行當該部隊の責任者懲戒並に某以下の免官(二)中央政府及び奉天督軍の謝罪(三)被害の賠償(四)滿蒙文武官に對する北京政府の訓示發布等に過ぎずと(東京特電)

◎支蒙兩軍又復衝突

休戰中の支蒙兩軍は二十六日又復衝突し蒙軍の幹部二名重傷を負ひたるが蒙軍は最後の一人に至る迄戰はんと揚言し目下頻りに軍器補充中なり(奉天特電)

◎吉林有志大會開催

吉林に於ける支那各方面の有志は二十七日宗社黨亡滅に關する大會を開き翌二十八日は政府擁護大會を開催し何れも決議案を通過せり(奉天特電)

◎伊國對獨宣戰

二十七日發表伯林公報に曰く、伊太利は獨逸に對し宣戰を布告せり(紐育電報)

(附記) 伊太利は昨年五月二十五日墺太利に對し開戰を宣したれども未だ獨逸に對しては宣し居らざりしなり、尤も墺國大使引き上げに際し獨逸大使も本國より歸國を命ぜられ羅馬を引け上げたれば事實上伊獨兩國は昨年五月以來國交斷絶の狀態にありしなり

◎敵軍益々壓迫さる

サロニカ戰況=塞軍の活躍

二十七日サロニカ戰線の聯合軍右翼に於て時々砲撃行はれ英軍砲兵隊はストルマ河右岸の敵陣地に對し間斷なく砲撃を加へたり我が中央軍に對する勃牙利軍はクルツの西北に於て六回の逆襲を行へるも何れも撃退せられ敵は全戰線に亙りて手酷き敗北を招きて退却し加へて頑強なる抵抗を試みたる塞軍の爲めに益々壓迫せられ居れりリオストロホ地方の左翼方面に於ても砲擊戰闘引き續き行はれ居れり(倫敦電報)

◎露軍グタを占領す

スタニスラウより前進中なりし露軍はグタを占領し匈牙利に向け前進中なり(露都電報)

◎飛機十二隻を射落す

ヴエルダン戰場にて毎回獨軍擊退

二十六日午後巴里發表の公報に曰く、ヴエルダンの戰場に於て獨軍の行ひたる攻勢は毎回共擊退せられ我軍は來襲せる獨軍飛行機中の十二隻を射落したり佛軍飛行家ナンゲンサー氏は敵飛行機を射落す事十一回に及べり(紐育電報)

◎嵯峨當分碇泊

廣東省方面擾亂に就き邦人保護の爲め廣東に派遣せられし軍艦嵯峨は當分同地に碇泊警備の任に當るべしと(東京電報)

◎造船盛況

我國に於ける新造船は英米兩國より大正七年迄に百三十七隻

鐵材の輸入減少せるに因り多少の打撃を被りたるも猶新計畫頻々として續出し盛況豫想以上なるが最近の帝國海事協會の調査に據れば大阪鐵工所、川崎、三菱を初め其の他十二造船所に於て本年中に建造すべきは四十八隻十六萬九百五十噸大正六年中に七十九隻三十六萬四千百四十噸同七年中二十隻七萬二千三百噸總計百三十七隻、六十萬六千百九十噸の多きに達せり(東京特電)

◎財界だより

[illegible]よりも頻りに引合あり爲に歐洲航路[illegible]輸入せらるゝ阿片は主として土耳其[illegible]にて一時三千二[illegible]迄低落せしが[illegible]より三井物産及び中村合資會社の手[illegible]しが中村合資會社は新に波斯貿易を開始し英領印度よりカルカツタ香港[illegible]十二日遞信省より向ふ三週間の豫定を以て露國便による市場行き羅馬尼[illegible]力努めたるも大阪方面より被送滯貨[illegible]三箇月分なるを以て到底前記豫定の[illegible]春經由にて引受暇物をなさしむべし[illegible]本省にては露國官憲と交渉中なる[illegible]荷物は相當に繁忙を呈し北海道木材[illegible]の假年よりは出廻り多量なるが而も[illegible]頗る極端なる低落を示せるものにて[illegible]三箇月後には運賃の[illegible]

◎明年度建造艦

海軍省に於ては明六年度に於て大型巡洋艦一隻を建造す可し(東京電報)

◎簡易保險と朝鮮

愼重商量中

簡易保險は朝鮮にも之を施行すべきや否やに關しては當初より總督府と當局の間に研究せられ大體に於て之を朝鮮に施行するも尚早に非ずとの意見に一致し既に成案は法制局に廻附せられ居る由にて其具體的の決定を見る迄には猶少なからざる日子を要すべきも當局にては成るべく明年四月の年度替りより實施せん意嚮なるが如く郵便法規同様内地に於ける簡易保險法を直ちに朝鮮に適應すべきや又は特別の事情を斟酌し内地の法規と分離し制令案として發布すべきやは猶未決なるが朝鮮今日の保險界を見れば内地の其に比し一層競爭激甚にして各社共三百圓以下の小口をも歡迎するの事情に在り且大口保險は解約者續出するも小口は却つて此の風潮なく會社側も之により一般の不況を補ひつゝある現狀なるを以て愈々朝鮮に小口保險實施の曉には一般保險業者の被るべき打撃は内地以上なるべく此の點に關し當局も愼重商量しつゝあるもの如く從つて朝鮮の事情に適應する様制令として發布するに至るべしと(東京特電)

◎刑訴改正草案公表

刑事訴訟法改正草案は主査委員會に於て審査中の處既に約三分の一を終了したるが今回該草案を朝野法曹界に公表して意見を徴する事に決定し其の印刷を終りたるを以て取調委員總會に諮り九月下旬頃各裁判所、撿事局、辯護士會、政務本部、警察署、憲兵隊、法律學校等に配布すべしと(特電)

◎聯絡船増加

輸送貨物の増加に因り

關釜聯絡貨物は九月以降移出入共増加するは毎年の例にて豫想せらるゝ所なるが殊に本年は船腹不足の影響を受け滿洲大豆其の他の農産品輸送高増加して現在の聯絡船五隻にては不足を感ずべきに依り鐵道院にては十一月頃より二千五百噸級の貨物船一隻を借り入れ關釜聯絡に就航せしむる事に内定せり(東京特電)

◎貴族院訪露團

日本貴族院議員一行は八月二十六日露都に到著したり(露都電報)

◎魚膠英國輸出

品質歐米産に遜色なし

魚膠需用の激増に伴ひ英、佛、米等各國にては豫て其の産否に關し我國に問ひ合せあり、内務省にては更に之れを朝鮮に紹介して改良魚膠の製造を慫慂し來りたるは既記の通りなるが、總督府水産課にては藍浦技師を京畿道富川郡に派遣し之れを試製せしめたるに成績良好にして色澤形狀並に品質に於て毫も歐米産に遜色なき魚膠を製産せるより總督府にては取敢へず二百斤を倫敦に搬出し商品としての販路、等級其の他の調査を大使館に依囑す可く目下其の荷作中なり、而して此の魚膠にして相當の價格を保持し確實なる販路を得るに至らば鮮内は材料極めて豐富なるを以て當局にては民間事業として之れが指導獎勵に努むべしと

◎長崎缺航影響

朝鮮郵船會社にては長崎虎列剌猖獗の爲め八月二十二日長崎入港二十六日出港の忠淸丸を缺航とし之れを門司に廻航せしめたるが次回は九月十日同地入港なれば或は其れまで虎疫下火となれば入港可能となるべきも其の前途は目下の處不明なり而して其の影響如何を聞くに朝鮮より長崎方面に向ふ貨客は頗る少く問題とするに足らざるも長崎より浦鹽並に北鮮地方に仕向けらるゝ貨物は必ずしも少額のみならず諸雜貨佐賀セメントの如きあれど之等は長崎航路の缺航により全部門司に廻著船積せしむる事となりしに付多少運賃を餘計に要するも其の影響は甚だ少かるべく旅客は際さて僅少に付取立てゝ云ふ程の事なしと

◎學校組合會議

京城學校組合會議は二十八日午後三時半より同議場に於て開會出席議員十一名金谷府尹議長席に著き豫の如く開會を宣し本日提出の議案中第二號議案即ち組合教育基金に關する件は都合により之を撤回したれば其他の三議案に就て議事を進行られたしと述べ其より議事に移り最初大村會計檢查員より前年度財政狀態の結果に關する報告を爲し終つて第一號議案前年度決算認定の件を議題とし規程により當日出席の年長者たる我妻氏金谷府尹に代つて假議長席に著き一同の認定を求めたるに滿場一致を以て之を認定し確定したり次で第三號案に入らんとするに當り大村百藏氏は前出納役峰尾普三郎氏が多年民團當時より組合時代に至る迄財政事務に貢獻したる甚大の功勞に對し特に金一千圓の表彰的慰勞金を贈呈せんことの建議案を提出したるに全會一致の賛成にて之を府尹に提出し次で三號案たる戸別割賦課減免の件に移る同案は尚は詳細に亙り一應調査を行ふ必要ありとし小川、大村、池田の三氏を委員に指名して附托することゝなり第四號案の組合規約中一部改正の件は出席議員規程の定數に達せざるため次回に廻すこととし六時閉會せり

□聖思優渥鴻恩無邊也

=罹災救恤金御下賜に就きて=

内務部長官 宇佐美勝夫氏謹話

去る六月中慶尚南北、全羅南北、忠淸南北並に京畿七道に於ける水害の趣き天聽に達するや 聖上皇后兩陛下より罹災民救恤金として金四千八百圓の御下賜を忝うせるは御沙汰拜戴當時に於て貴紙の報道せる所の如し顧みれば

■新政以來 水害に際して罹災民救恤の爲め御下賜金を拜戴せしは明治四十四年咸鏡北道以外の各道に對して金一萬三千圓明治四十五年京畿、忠淸南北、全北、慶尚南北、江原及び平北の各道に金二千七百圓、大正三年咸鏡南北、平安南北及び黄海の五道に金九千八百圓、大正四年京畿、平安南北、慶尚南北、江原咸北七道に金七千六百圓の如き其の御沙汰連年相踵ぐの狀况なるに今回又復斯の御下賜金を拜す

■聖恩の洪大 なる民衆感泣措く處を知らざるべく、此の御下賜金は不日被害の狀況及び其の程度によりて前記各道に分配せらるゝ筈なり、惟ふに南鮮地方に於ける本年の水害は稀有の出水にして死傷者の數尠からず、農作物及び道路橋梁等の損害亦頗る大なるものあり、唯だ幸にして地方官憲が善後の施設宜しきを失はざりし爲め其の損害の幾分を輕減し得たるは喜ぶ可し而かも此等

■善後の處置 を得たるは一に聖恩の優渥に因らずむばあらず、今其の救助の爲め既に支出せられたる金額を被害の程度最も大なりし慶尚南北道、全羅北道並に忠淸南道に就きて調査するに、炊出米、小屋掛料、食費、種苗穀等の給與に要せしもの總計二萬八千二百七十圓餘にして其の内地方費より支出せる三千六百二十五圓餘を除く殘額中、一萬三千百四十七圓餘は併合當時各府郡に給與せられたる臨時恩賜金の一部なる凶歉救濟費の利子より支出し殘額一萬一千四百九十七圓餘は明治天皇御登遐の砌並に昭憲皇太后御崩御の際朝鮮に下し給へる恩賜金を基金とし本府に於て管理せる恩賜罹災救助基金より支出したるものにして罹災救恤費の大部は恩賜及び下賜金に依るものなるを知る可く、加之に今回の御下賜金を以てす聖德雨露の惠澤に窮り無しと謂ふべし、想起す

■過般の出水 に當り部員出張して地方出水の狀況を視察したるに一老婆語りて曰く、往時出水あるや人の來りて慰撫するものなく飢ゑて食なく著るに衣なし只だ水中に號哭して天を恨み死を俟つの外なかりしに、今や出水の都度官憲騷せて之を慰藉し食は與へられ衣は給せらる、而して水去れば直ちに農作に對する善後の所置を講じ又家屋の流失倒壞したるものに向つては其れ〴〵小屋掛料を支給せらる、新政の惠澤は往時に比すれば實に隔世の感ありと洪恩何れの時にか報せむと、此の一語は地方の罹災民が新政に對する感想の一斑を吐露せるものにして彼等が無邊の聖恩に感泣するの狀推察するに餘りありと謂ふべし

◎京畿土木工事と製材

京畿道土木課にては本年度工事に屬する京城木浦間京城義州間の兩一等線中前者は水原以南を後者は坡州郡内の各橋梁暗渠及び今回水害の爲め破損せし各道路の修繕工事に就きこれに要する木材は市價昂騰の爲め購入困難なる事情あるを以て道廳は今回李王職と協議の上李王職所轄に係る水原花山陵附屬森林中二山の松樹を讓受け本月十八日以來伐木製材に著手せるが全部の材料約六千尺〆を要し之を目下の市價一尺〆八九圓に比すれば殆ど半額を以て足り成績極めて良好なりと

◎奉天より

▲蒙匪宗匪の影響 南滿洲各地は蒙匪宗社黨の來襲群起の爲め最近二箇月間各縣人民は家を燒かれ田園は荒廢し富商等は途中の掠奪を恐れて出貨せざる爲め商業沈衰し延いて金融の通迎を加へたるが奥地方に於ける支那收税各機關の收入は著しく減退せる趣なり

▲征蒙と軍用電線 北京政府は征蒙軍事消息の靈敏を期する爲め其作戰區域一帶に速に軍用電線を架設す可き旨を二三日前東三省督軍に電命し猶該線架設の地圖を至急中央に提出す可きを命せり

▲負傷中將入奉說 突泉戰にて負傷し死亡說さへ傳はりたる吳中將は其後經過良好にて數日前奉天に來り張督軍と種々商議し小河沿新家屋にて二三日靜養の上二十五日杜醫官等三十餘人を率ゐ洮南に返りしとの說あり

▲歸還二十師兵數 張奉天督軍の電請に依り陸軍第二十師の一部が已に歸來せる事は已報せしが猶聞く處に據れば該師歸還の兵數は第七十七團全部と騎兵第一、二の二營と砲兵第一、二の二營とにて北駐割地點は山海關、寧遠、錦縣、新民等にて主として京奉線の守備に任ず可し之れと引換へに二十八師は一部は奉天に其餘は蒙匪征討の爲め派遣さる可しと(廿七日通信員發)

人事消息

▲小川京市氏(京都帝大教授理學博士) 二十八日夜入京不如火へ

▲武村義氏(大倉組員) 入京中の處二十八日夜退京

▲齋藤孫兵衛氏(大阪住友商會員) 同上

▲大橋鐵明氏(久原技師) 入京中の處二十九日朝退京の豫定

▲松本正寛氏(辯護士) 二十八日午後九時南大門着内地より歸着

■南言北語■

今期の米國大統領選擧は誰が當選しても一向お構ひなしの氣で居るものもあるが▲歐洲通では非常の意味を附し南北戰爭の際に當選したリンコルン以來の大選擧だとか云つて居る▲成る程此選擧には例のプレパードネスが附随し戰備擴張が聯繫してゐるのだから從來の選擧とは大に趣が異ふ▲ヒユス氏は却々の勢力で民主黨の巢窟たるモンタナ州ですら大人氣である▲のみならず女子參政權論者も獨逸系三百萬の米人もヒユス氏を候補に指定して居る▲ソレやコレやで大分ウヰルソン氏は悲觀すべき狀態にあるらしい▲小說家村上浪六君は近來小說を書くよりも達磨を書く方が儲かるので兜町邊の相場師の爲に頻になすつて居る▲此間も代議士の吉田磯吉君の後援で筑前若松へ東京藝妓を引率して乘り込んで一枚二十圓として鳥渡六千圓許り持つて歸つたとか却々奇用な男だ▲先達近所に三匹の强盜が這入た其の飛沫を被つて五百圓の損をした神山闘次君に宛て▲戸川殘花翁が其の見舞として『犬と云へば殺されぬものをお主人の狸をきめぬ事ぞくやしき』と狂歌一首を送つた▲すると神山君は『新聞の兎は候ふ犬死の犬の主人は狸庵先生』と返した狸庵とは神山君の雅號である▲扨て神山君は龍土町の住宅は物騷だと此間白金猿町七十三番地に移轉した▲其處で犬と猿、狸と兎の動物が揃つたと大笑ひ▲立花將軍が典太を軍刀にして持て居る相な▲典太と云やあ上物の大業物で彼の荒木又右衛門が伊賀の上野で大勢を斬つたのも三池の典太である▲兎に角京城刀劍界の珍品であらう

蘇峰 德富猪一郎著 第八版發賣

天覽 世界の變局

菊版 布製 五百八十二頁 定價一圓五十錢 郵稅拾八錢

本書は、大和民族の固有にして、而も特有なる皇室中心主義を振り翳して帝國の進路を無限無邊に開拓せんとする著者が、二十年間蘊蓄したる世界的議見の結晶也。一卷百二十五章、五百八十二頁(菊版五號活字)の大傑作にして編を分つこと八、先づ本書著述の由來と用意とを明にする「陳言一則」より、國家の權勢慾を道破せる大緒論、[illegible]歐洲政局の推移、日本帝國を中樞とせる極東政局の變遷、[illegible]を惹起せる米國の帝國主義、[illegible]前に於ける露英の態度を說き[illegible]於ける日本の[illegible]現在、將來、就中國際道德と國家の實力とに論及する大著述也。[illegible]ならず、何人も一讀せざる可らざる[illegible]面に溢る。

發行所 東京市京橋區日吉町 振替口座一三一〇〇 民友社

大賣捌元 京城太平通一丁目 振替京城三〇〇番 京城日報社代理部

冒險世界 九月號 定價十八錢 郵稅一錢半 東京本町 博文館

■小說 名犬物語 ▼大失策の卷 ▼鐵化面(探偵物語) ▼血に渇く獨逸の海中魔 ■富士の裾野廻り恥の掻き捨て記

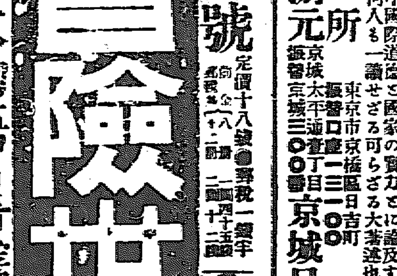
□金牌懸賞當選新題 ▽日本アルプスの魔道 ▽武俠青年探偵物語 ▽甲大選米赤毛布物語 ▽八か?ト ▽陸奥宗光 ▽カウエル[illegible]

營業品目 精米用鑛山用 唐箕水車 千石通し 萬石通し ユリ板流し 鑛山用製粉用 篩各種 金網類

京城北米倉町 京屋商店 長電話二七〇三番

醇良無双清酒

無害衛生 品質無双



首藤合名會社吟造

精白米御小賣 キリンビール サツポロビール 醤油 各種 三矢サイダー シトロン 各種

朝鮮發賣元 首藤京城支店 (電話 一七一番)

エーアイ塗料 本塗料は朝鮮總督府中央試驗所の發明に係り耐水耐熱性を有し室内塗替には尤も優美にして耐久力強く且使用簡易にして經濟的理想の塗料なり

エーアイボイル油 ボイル油も亦同試驗所の發明品にして皮膜の強さと光澤の美麗なるは本品の特色なり

ルミナ金屬磨 金屬磨は液體にして酸性を有せず眞鍮銅ニツケル其他一般金屬を磨くことを得容易に美麗なる光澤を發す

發賣元 京城南米倉町 京城製油所 電話一五八番

[illegible]の傾向を呈し…艦艇に伴れ最近に於ける船舶の[illegible]者持の三十七志六片…需要旺盛ならんとする狀勢あり伊國を唱ふるに至れる由、政府より本邦船の引合せある外倫敦

▲波斯貿易と阿片　本邦に[illegible]以來日土貿易杜絕のためこれが輸入難を唱へ[illegible]者たる內務省に於て原料輸入方法につき種々の手段を講ぜしも思はしき結果を見る能はざり

▲露國小包問題　露國行小包引受停止に關しては既報の如くなる[illegible]ざるも品切を告ぐるが如きことなしとにして這般軍需品の輸送を激減せしむるを以て斯くは當分の停止をなさしめたるものなるが之れが一掃に極[illegible]箇月後ならでは引受開始の運に至らざるべしと因みに露國官憲にして急速に復舊策を講ぜざる場合は更に長[illegible]

井口軍事參議官
……二十八日夜南大門驛にて……

●さらば！井口軍事參議官の出發
南大門驛頭車馬絡繹織るが如し

軍事參議官陸軍中將井口省吾氏は二十八日午後七時五十分南大門驛發列車にて第轄赴任の行程に上られたり日沒頃まで降りしきりたる驟雨は全く歇みて紫だちたる夕映の

◆空美しき停車場　には倚馬車、自動車にて集り來れる見送りの人々には山縣政務總監を始め總督府各部、局長官、各課長、駐箚軍司令部及び第十九師團將校同相當官李王職、各官、各國領事及び夫人、東洋拓殖會社、朝鮮銀行重役其他官民有志者等夫人を伴へる見送人も亦夥からずさしもに廣き停車場も

◆人と車馬とを以て充滿せられたりやがて中將は一箇小隊の儀仗兵に前後を擁せられて馬車は塵も揚らぬ大路より輕風を切つて停車場貴賓室車寄せに著するや最前より待ち設けたる先著の見送人一同に迎へられ貸切一等に入ればプラットフオームには儀仗兵在郷軍人會員堵列し其他の見送人等は

◆其右方に列せり　此の間夫人令孃も又プラットフオームに入り中將と共に見送人に對し一々叮嚀なる訣別の挨拶ありやがて列車は迸る人逆らるゝ人の名殘を裂きて夕靄の中に駛り入りぬ斯くて見送人は熱誠に一路平安を祈る間に將軍は其の光榮ある道程に上りぬ

●誤れる六朝風を排す
京城には書道に熱心な人が多い＝村松六々氏談

京都の書家にして熱心なる書道研究家村松六々氏は過日入京し天長節後に滯在中なるが六朝書道に就て語りて曰く

京城に來て自分は意外に書道に熱心の人々の多い事に驚いた而して何れも熱心ばかりでなく

◆相當の發達を　遂げ殊に工藤、小宮、小松の三氏の如きは皆な素人離れのした腕前である、六朝書道が一たび我書道界に唱へられてから近來書道に志す者は相率ひて六朝の書風を趁ひ而かも虎を描ひて猫にだも類せざるもの比々皆な然りと云つても穴勝ち過言では有るまいと思はれる、が之れは

◆無理のない事　である近頃六朝の首唱者たる中村不折君なども實に六朝中の最も邪道を辿つて居るの感がある殊に碧梧桐に至つては全く似も付かぬ拙劣なる文字を擶いて六朝書風だと云つて悦んで居る處は不思議である井手前駐箚軍經理部長碧梧桐の書を學んで之に似ざる事を恐れて居るが何ぞ知らん御師匠樣の

◆碧梧桐よりも　却て井手氏の書體こそ六朝の高雅に似た處が多いのである自分は熟々思ふに今の六朝書風を學ぶ人は何故に斯くの如き岐路に互つた處ばかり習得せんとして空しき努力を續けて居るか實に不思議に堪へられぬ、六朝時代の肉筆は今に於て殆ど見る事能はざるも四百の碑碣

◆幾百の拓本叉　は寫經等に由つて遺憾なく六朝多數の筆跡を窺知するに難くはない亦我國にも正倉院御物の內又は宮內省の圖書課又は大寺諸名家等に秘藏さるものも亦決して尠くない其の一例を舉ぐれば正倉院の晋王羲之の尺牘の如き知恩院所藏西魏の菩薩處胎經寫本の如き石黒男所藏

◆北齊天統三年　寫十地論の如き其他隋の蘇慈墓誌等を見ても其の書體は圓熟高雅暢達等の言葉を以て評すべく決して昨今世人の所謂奇怪なる枯木の如き書體のみを稱して六朝書風なりと爲すは甚だ編狹なる見方と云はざるを得ない、我國に於て六朝書道を始めて傳へたるは元鑑年間に北島雪山が習得して之を

◆細井廣澤に傳　へたるものであつて其後六朝書道は全く衰へしが明治初年中林五竹翁が支那に渡り嵩儀初に就て書道の秘訣を得て歸り次で巖谷一六翁此書道を襲ぎて起り中村不折氏に至りては全く生命ある傳統なく旅滿南の書道論と共に大いに論議すれども其の書く處を見れば北碑邪曲の書風を僅かに學び得たるのみである

□夢金石か藍浦石か
お道樂の一つ
一象居士の數ある

林一象居士の硯道樂は有名だが頃日海州に行つて例の夢金浦の硯を手に入れ端溪も歙にあらずと云ふ程に惚れ込んでしまつたのは寧ろ逕かりしと言はねばならぬかも知れない

夢金石が海州硯として既に定評ある事は今更云ふ迄もないが今の[illegible]作中で道體が[illegible]熱心だから今後次第に名た[illegible]すであらう。夫れで無くても今でさへ仲々注文が殺到と一象居士は後から後から大小方圓[illegible]に應じきれない[illegible]――其海州硯に就ての話の硯な[illegible]に愛び込んで來て一々水を濡らし[illegible]試み乍ら

『[illegible]比較にもならぬ[illegible]は[illegible]より一寸[illegible]と思ひますが夫れは[illegible]に軽い許りで無く下りもよければ發墨の具合も[illegible]いゝ[illegible]遣つて御覽なさい』

と客をして磨り試みさせつ『硯は平常は水に漬けて置かなくちやいけないものだ相だ使用する時水を拭いて汲みたての水を入れ、使つた後では更に拂拭して水に浸けとくもんだ相だ』と何かの本を持出して大に説明を加へる

其秘藏品中にも數箇の[illegible]があり夫れを一々指示して『同じ端溪にしても石層により高低がある現に此店にある端溪にも非常な上下がある』說んで夢金石をやたが今の[illegible]石層が[illegible]揺うのと云ふ程の多少専門的頭腦のある人が探石の層に關はつてゐないのは實に殘念だ[illegible]のや見掛け許りで好術の[illegible]とする[illegible]と言はねばならぬ。此石層を選んだ採石が[illegible]に適國の[illegible]に言はれば今後夢金浦の硯は非常な[illegible]のとなるであらう』

是れだけ褒められては夢金浦の硯石も浮ばれやう。然し夢金石が儲け上げて[illegible]らない要心は勿論肝心だ――

[illegible]

戶數が九百二十六戶共用給水戶數が二千八十七戶計三千〇十三戶であつて昨年末の總給水戶數二千八百六十七戶に比べると[illegible]を示してゐる[illegible]と人口七萬人に對し一人六斗二升の割合で給水する筈であるのが目下水道使用者は一萬五千餘人に過ぎないから水が非常に潤澤である爲め水道事務所に於ても給水規則に違反しない限り出來得るだけ市民に便利を計つてゐるが京城水道の如く水量の乏しい爲めに時々

▲給水に時間　の制限を設けたり係員が戶每訪問をやつて水の節約を奬勵したり撒水及び工事用水を謝絶したりする必要がないので市民の水の使用量が識らず知らずの間に濫費の傾向を生じそれが慣習になつて仁川では家事用給水が一人一日の量が實に一石二升の多量に上つてゐる今試みに二三地方の一人一日の給水量を示して見ると

▲京城が五斗　木浦が五斗八升[illegible]山が七斗二升になつてゐて[illegible]

●水に　贅澤な仁川市民
七月中の給水總量＝贅澤の傾向
一人一日一石二升＝各地と比較

仁川水道七月中の給水量は五十四萬一千九百七十六石で昨年同月の給量五十三萬八千四百六十七石に比べると約一萬餘石の增加を示し同年は前年より遙かに高度を示してゐる其

▲重なる原因　は給水栓の增加の爲めである本年七月末の調べに依ると專用給水

●八百六十名
虎疫患者總數

長崎縣を始め大阪、横濱及び東京の各地に於ける虎列拉患者は累計實に八百六十名に達せり（東京電話）

●長崎縣下の虎疫猖獗

長崎縣下に於て廿七日發生せし虎列拉新患者は市內九名郡部十五名にして廿八日午後迄患者累計は市部郡部併せて五百名に達し其の中死亡者二百十六名高島炭坑に於ける死亡者五十名を算せり佐世保に近き面高と鹿町にも續々發生し當分減退の模樣無し（長崎電報）

●救はんとして兩名溺死を遂ぐ

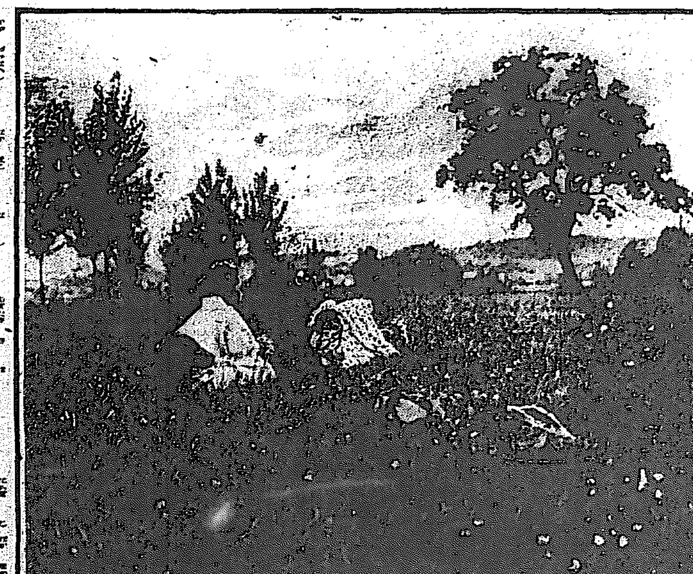
京畿道驪州郡北內面川松里農元錫豊妻韓順伊(二五)は去る廿五日午後一時十分頃水に入り身體を洗はんと漢江沿岸に向ふ際隣家金茲根の娘王女(五)も共に來り先へ駈けゆき水中に入りたるが金順伊が沿岸に著せし時は既に王女が溺死し居るより救ひ上げんとして入りたるに流水の爲め同人も足を浚はれ共に溺死を遂げたり

●集合大隊演習
十月二日より光州にて

全南光州第二大隊管下海南茂長全州の各守備隊は來る十月二日より十日迄光州に開かるべき集合大隊演習に參加する筈なるが右に就き大邱安原聯隊長は八日光州に來著せり了後は更に同十四、五日頃より大田に於て擧行の聯隊對抗機動演習に參加する爲め各守備隊共光州より其儘同地に向ふべしと

□八年振りの暑氣
滿洲の溫度は百十一度

長春觀測所の調査に依ると廿五日は最高氣溫攝氏の三十七度華氏の九十八度六で觀測所創立以來八年間曾て見ない高溫さである此八年間で一番高かつたのは四十三年七月八日の華氏九十七度九を以て第一の記錄としたが此記錄は二十五日の暑さに依り破られた而して地上で日光の直射する溫度を計つたら華氏百十一度九であるが此方の最高は四十三年の七月二十五日に百二十度二といふ記錄があつて此記錄は破る事が出來なかつた之れは畢竟五日程前に降雨があつた爲め多少緩和されたのであらう



△初秋郊外十景（三）

芭蕉の一　夏草や兵どもの夢の跡一を想はせる龍山練兵場にも、きりぎりすや、機織りばつたが、頻りに飛んで、綠の畠の草原の中には對紫、女郎花などの中に混つて、名も知れない秋草が咲き出した。ポプラの並木と小高い丘を背景にして、母子が二人、斷れぐの雲の飛んで、夕空の色を見上げながら、ホワイト、クローバを摘んでゐる。その娘の蝶々髷と、赤い帶とが、眼につく。

ねころんで

◇長節から金剛山下の溫井里に至る二里餘の道は、豪雨の爲め五六箇所も破壞されてあつた

◇然るに、道中に二人の娘を伴れた奧さんが行く、雜踏來る、それに瞭の茶店には若い內地人の女が『お寄りなさい！』と云つて居た

◇溫井里の溫泉は、豪雨の爲めに浸水して入浴が出來ない、長門屋の主人に會つて今の綺麗な宿よりもむかし陋燭裡にホヤを焚いて呉れた時分の方がなつかしいぜ、と云へばいかにもとぬふ

◇併し貧乏も毎年此の山に來る度に誰から聞から聞ろやら、雪埋めに遭ふやら、死生きの目にあふから、モウ山には登りなさんな！――といふ

◇それに今度は身體も悪いので宿に近い寒霞溪を見て來ようとばかりあの大きな鑛物相の谷を進む

◇左右は天空にそびゆる大岩壁である上にも下にも松の樹がある、日の照る谷、翳つた谷、水晶のやうな深流、家ほどの岩！景色は恐ろしい壯雄大である

◇いゝ加減な所に腰を卸して、ノートルダムの拝廊のやうに覗きこむだ巨岩を仰いで居ると、峰から峰へわたる白雲が、活動寫眞のやうに通いて居るね

◇碧い淵に足を浸して山はへの姿を眺めて居ると僅かに谷の奧が暮つて來たからてのまゝ宿に歸る

◇金剛山ホテルは白樺の柱など建てた風流なバルコンなどもあつて外人客も多かつた

◇それに、鐵道局の龜田氏は、鑛物相の谷に新らしい名前を命中であつた

◇また人里離れた溫井里の味に、夫婦で暮らして居るといふ下金剛兵衛君にも會つて見たが、『山には何も居りません唯だ冬になると時々熊奴が出て來ます』

◇溫井里はその晩失敬する、振り返れば北斗を摩する黑い山路に、僕の紅い灯がチラく動く叢にはヂーくと虫がないて居た。（つゞく）生

●危險な清凉飲料水
其筋にて廢棄を命ず

京城鍾路警察署にては八月二十一日より三日間管內の果物及び清凉飲料水營業者につき嚴重調査をなしたるが其の檢査總數三萬七千四百九十六個にして此內腐敗又は溷濁物多く飲食に適せずして廢棄したるもの六千四百四十七個に達し居れり而して

●怪星現はる

四五日前より鐵嶺西北方に一個の怪星現はれ肉眼にて明かに認め得るより支那愚民等は此れ大亂發生の兆なりと種々の諸言を放ちつゝありと（鐵嶺）

●主人の衣類を

仁川花房町二丁目河野米吉方雇人李勉珠(二〇)は家人の不在に乘じ主家の衣類雜品十數點を窃取して逃走せるが此程仁川署に捕はれ二十八日檢事分局送り

●哀れな職工

仁川寺町十五番地大鶴方島根縣能義郡安東村生れの木山熊太郎(二二)は今より三年前に渡鮮し菓子職工として諸所の菓子店に雇はれゐたる者なるが病身にて思ふ樣に働けず近來病勢亢進し起居自由ならざるより前記大鶴方同居の知人某を賴りて訪ね行きたるも其人は目下仁川に居らずさの事に其儘働別に寄辺もなき大鶴方に厄介になり居たるが此程本人より保護方願出でたるを以て二十三日行路病者として仁川分院に收容さる（仁川）

●泥棒の手先き

愛知縣新居郡西條町生の理髮職野間光五郎(三二)は京城吉野町居住中本年五月十六日黄金町一丁目某朝鮮人宿にて窃盗犯人田邊祐次が他より窃取し來りたるフロックコート外衣類數點につき窃取物なるの情を知りながら或は入質し又は賣却しやりて手先となりとして報酬として絹セルのズボン一著を貰ひ受けたる一件は八月七日京城地方法院にて懲役三箇月及び罰金二十圓の判決を受けたるより之を不服とし京城覆審法院に控訴せしも二十五日棄却となりたり

午略儀謹テ御見送リヲ感謝ス
八月二十九日
井口省吾

京日案内

普通三十錢　番外六十錢

普通

●店員入用　十五歲より廿歲迄市內に保證人を要す希望者本人來談あれ　京城　ミノヤ自轉車店　131

▼御不用の古本と古樂器は是非共ウツボヤへ御信用の出來る　本町　ウツボヤ　75

●金融　月收御方へ秘密信用融通御報酬低利　大和町三ノ三一　尾　133

●店員及女中　二十五歲以下の者雇入れたし履歷書携帶午後來談あれ　南大門驛前松原運送店　130

○古本■高價買入　京城本町三丁目　東京堂書店　599

▼福田芳之助著　新釋　京城本町　布金入四三〇頁　持價一圓五十錢　ウツボヤ書籍店　81

●血の道　●痔　●淋病　●名灸　療治　堀內正文堂　若草町若草湯前　94

●店員　十三四歲より十六七歲位の者四名雇入れたし希望の方は本人來談あれ　京城本町一　北內商店　104

●讓店　櫻井町目拔の處日下盛に營業中日用品雜貨及果實店居抜の儘至急讓度し（姓名在社）　118

●馬山浦所在宅地四千坪並洋風建安價にて賣りたし（姓名仁川支局）　125

●古本熱心高價買入　●是非御試覽を乞ふ　電話二七八一番　△御報參上　△本町四　△吉野文書堂　111

▼周易觀相…見料隨意…誠に評せられよ必ず中る法螺でなし永樂町一ノ九商品陳列館通坂中途均陵庵　123

●看護婦募集　派遣多忙に付き至急入會ありたし　南山町一　電一四四一　中央看護婦會　105

●松汀里光州間自働車は太田木浦間の列車に聯絡す　▲光州加藤自働車運輸部

番外

代診生雇はれたし　年三十一身元確實詳細御報次第寫眞履歷送ります採用の上は旅費一切自辨（姓名在社）　132

鮮語入學特典　九月四日新學期開始　三月修業　京城青年會　134

英語入學特典　九月四日新學期開始　ABCより教授　上級補缺あり　南大門通一（漢城銀行前）京城青年會　135

雲母及マンガン鑛石輸出御希望の方に御回答致度候　鍾路ロンドン商會內　吉岡　136

石油發動機　八馬力、英國製獨式　籾摺機十臺分、アイデル、精米機、搾油機　二臺一ヶ年間使用現在使用のもの用法簡易至急安價讓渡したし姓名在社　126

●京城春川間行自働車賃金片道四圓　每日午前八時出發　●南大門通一丁目　廣橋自働車　電話二一九番　主務　金正潤　592

鑛山經營　金石商會　京城鍾路二ノ九九　重石買入　電話一八九九番　▲鑛物分析並に鑛山測量製圖▼　560

恩給年金立替　利子年一割　即時取引退隱料一切　京城櫻井町　大正館向　元祖　博多屋本店　572

恩給年金類五年半分迄立替月利　日獨戰役恩賜公債特別高價に買入す　京城南大門外（御成町）　山口屋　586

龍山齒科醫院　龍山榮町　電話五五番　13

鑛物定量分析　京城府太平通（朝鮮公論社左小路）　坂元分析所　電話一三四四番　95

セトモノを買なら本町二丁目㊤賣場　二錢より十錢迄なんでも揃ます

工事請負公告
京城府桃花洞道路砂利敷工事
此入札保證金各自入札金高ノ百分ノ五以上
入札者ハ京城府內ニ於テ國稅、地方費、府稅、學校組合費年額二十圓以上納ムル者ニシテ備ニヶ年以上斯業ニ從事スル者ニ限ル
右依リ入札ニ附ス請負人條例第十二號大正五年六月京城府條例第十二ノ[illegible]
現場熟覽ハ九月一日午前十時同日本府會計係ニ就キ仕樣書及仕譯書[illegible]
此契約ハ朝鮮總督府府尹金谷充
大正五年八月二十六日　京城府

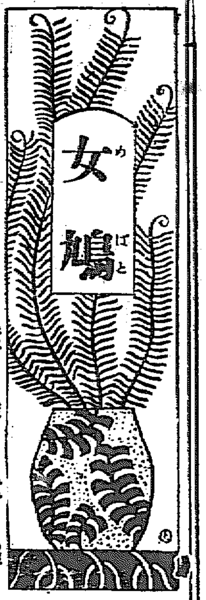
▲簿記生徒募集　短期卒業　卒業後は銀行會社商店等へ確實に就職紹介す規則書要二錢　京城明治町一丁目　京城簿記專修館

指環及時計　仁川本町　糸岐商店　電話三七〇番・振替京城一七

於國產博覽會名譽銅牌受領　國產を重せらるゝ御方は御愛用の程　特約店　池尻商店　ソース

嗜好の横綱　ほまれ味噌　醤油の大王　キッコーリウ

孫幸子葬送の際は御會葬被下難有候略儀以新聞紙上御禮申上候　八月廿九日　福岡利吉　淺岡事

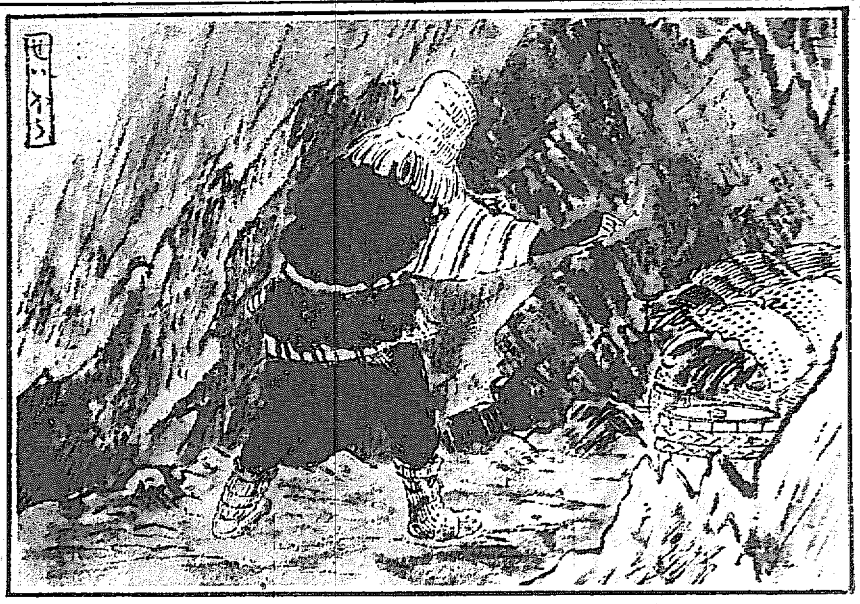


『八九』いのちの綱

渡邊默禪

源作の誇るのも無理はない。彼は一斗餘りの玄米を麻の袋に入れて、少量の味噌と、さうして昆布と干菜――大根の葉を日干にしたもの――を齎らして來たのだ。

何處からそんな食料を持つて來たかといふことは、一體彼は今まで何處に何をして居たかといふ疑問と共に、何人の頭腦にも浮いて來る謎である。



彼の語るところに依ると、ちやうど『天狗の角力取り場』から出谷川の谷に下る途で、急傾斜の氷原で足を滑らしてどかりと腰をついた。その機會に弛みかゝつてゐた曳綱が帯から解けて、する〳〵と下へ體を持つてゆかれた。急いで金剛杖を立直して踏止まらうと躁つたけれども何分勾配の嶮しい坂の上に深い雪の上だつたので、思ふやうに手が利かなかつた。アツといふうちに非常な速さをもつて急角度に滑走しつゝ、忽ち二十何丈の谷底に落されて了つた。幸ひ怪我がなかつたから好かつたやうなものゝ、大きな聲を揚げて一行を呼んで見ても、烈しい吹雪の聲だけに應へる者はなし、谷の上に這上らうとすれば、さながら玻璃障子を攀ぢる蛙のやうで如何することも能きなかつた。と、忠實な飼犬の太郎が主人の落ちたのを見て心配したのであらう、悲しげに吼ゑながら跡を追つて谷へ降りて來た。それへ綱をつけて曳かせでもすれば、無理に登れないこともないが、偶然と思ひついたことが有つたので、谷の川べりに傍つて迂回しつゝ、出谷川の上流に溯るべく途を決した。

といふのは、其處から十數町の距離、同じ谷間の洞穴に、今年の秋のまだ雪の來ぬうち、冬籠用の食料を搬んで仕舞込んで置いたことである。それは陰暦の正月になるのを待つて、熊狩を始めるのが毎年の例であるが、雪がふり續くか、又は獲物を求むる手筈が狂ひでもすると、半月も一月も山に籠つてゐることが珍しくない。さういふ場合に食料に乏しきを告げるやうでは不便なので、彼は多年の經驗から豫備の食料を蓄へて置くことにした。そして此の洞穴を見立て、究竟の避難所と倉庫とに充てたのであつた。後から登つて來る筈の糧食隊が吹雪のために途中で行惱んでゐるといふことは、彼にとつて一番恐ろしい心配であつた。もし登山を中止して空しく引歸すやうなことになつたら、肝心の命の綱が切れる。二日續くか三日打透すか、先の知れない山荒れが鎭まるまで、彼等一概に籠るでもなく凝然として斷食してゐた日には餓死しないまでもみんな半病人になつて了う。斯うなつたら熊の方であべこべに人間狩を始めるかも知れぬ。否恐くはそんな慘めな目に逢はせたくない、と内々胸を痛めてゐたと、端なくも谷に落ちたのが動機になつて、ふいと洞穴のことを憶ひ出したので、この機會に廻つて見よう、狆か猿にでも發見されない以上は、無難にそつくりしてゐる筈だと想つた。

で、氷に閉され切つた溪河について、夕闇の吹雪のなかをよぢりもぢりら、漸とのことにその洞穴に辿り着いた。用意の燐寸を摺つて檢めて見ると奥の岩壁に寄せて貯へてあつた二俵の米俵と、五升入の容樽に詰め込んだ味噌、幾束かの干菜、それから昆布に到るまで、入れた儘の形を頽さずにちやんとしてゐた。彼は大いに悦んだ。是だけの米――一俵が三斗五升入であるから七斗になる。一人一日五合平均と除分に見積つても、二十三人ならば樂に六日は支へられる。それまではどんな大荒れでも凪ぐに違ひないと斯樣に思つた。が、洞の外は眞闇。吹雪が一層猛烈。もう一歩さへ出ることが叶はなかつたので、それなり洞に立停つた

□大田湖南吟社句集
題 走馬燈、蜩、野分、案山子、木の實

走馬燈闇に吐月峰の音高し 雅溪
病馬の厩を叩く野分かな 同
蜩や雛呼ぶ倭鷄の聲しきり 同
寄せ木の實伏せて月夜の臉の凹 同
飯事の盆にもりたる木の實哉 同
農園の苗秋を守す案山子哉 同
月と湖の中を守る案山子哉 同
月出て影のうすれや走馬燈 秋骨
野分あり草木は伏して影見ゐす 同
烏嚇る一本脚の案山子哉 同
走馬燈怪話に更ける夜星飛ぶ 同
野分しきりに葉裏を返す芋畑 待宵
蜩の鳴くに甚殘の聲止ます 同
深山路や逃る猿に木の實とよ 同
行路憩ふ落つる木の實や椎大樹 同
案山子立つ垂穗の果や山遠し 同
化粧直す鏡に廻へり走馬燈 可祝
淡墨の元祿踊や走馬燈 同
野分止む無人島に着く漁船哉 同
蜩や測候所の揭示晴れ報す 同
山莊守の剝盆に木の實堆し 同
落人の落行く畑や案山子吹く 同
葬の提灯白し野分吹く 春三女
木の實取るに友猿の爭へる 同
洞木に木の實隱せし人馴れし猿 同
脫監の因徒捕はる案山子哉 同
賭場歸り我田の案山子首ねぢし 同
駱駝旅行の沙漠幾日や野分吹く 松年
蜩や反響の森に牛居る 同
熊峰に吸ひ落されし木の實哉 同
鳥威し纏帶切れし試作田 同
船の妻米とぐ頭を蜩鳴く 中京

蜩や母まちて泣く子門に立つ 同
木の實拾ふ兒の襲も拾ひ見 同
熟柿石に落ちて音みる野分哉 青醉
蜩や赤坂宿の松並木 同
高臺の月に弓する案山子哉 同
蜩や山彦こもる木曾の奥 月波
力なき腹を狩したる木の實哉 同
眼下の河原に木の實乾き見 同
破笠破簑鬪ふ張の案山子哉 同
辻堂に燧石うつ野分哉 千里
蜩や戀の夕を一トしきり 同
無住三年垣根に腐ちる木の實哉 同
鬼門知らす案山子並ぶ島の糞 同
野分したあとや靜な水の音 西水
蜩や牛追ふヨボの聲滑し 同
蜩や足捲早むる小荷駄馬 同
蜩や指道標文字かすか 同
山路來て笛の笠打つ木の實哉 同
月三更寂として木の實落る音 同
意氣衝天概ある案山子の力味哉 同
刈とりし畑や案山子の淋しげに 同
野分そ我が菓樹園の荒さまう 紅星
蜩や旅は道連れの迂散臭し 同
蜩や宇出來たる莊の蓮 いかり
蜩や行脚の僧の門敲く 同
七草觀の高尾が部屋や走馬燈 圓骨
走馬燈内閣は亦た居据りぬ 同
酒肆門の牛頭に吹く野分哉 同
負け忘る儕の缺盜む分野哉 同
蜩や黑秋山の瀧藥師 同
溫泉は椿の目の蜩に虹片消えて 同
高臺を番する木の實行者哉 同
戶押す白留守する猿木實落る 同
寺の柿の實見張る鳥威し 同
御陵下向落外案山子ゝゝる 同

▲此の頃四錢の湯錢が高い〳〵と云ふ人が雨後の筍の樣に出て來たが一體何をしてゐるのであらうか少しは當局者の身にも成つて見るがよいこんなことを騷ぎ立てる者に限つて樽の化粧品杯には思ひ切つて金をかけるから可笑しくてならぬて當業者中に十枚二十五錢にして多客を得んとして居る者があるとは不届至極なものだ(不贊成)▲某商會の貸家の跡は石垣は崩れて溝を埋める家根草は其儘で火の用心惡るく便所の掃除には子供が落込んで危險です早く片付けてください(兄弟會社)▲府廳に税金を納めに行きたるに朝の九時半から十時半までまたされた今後は今少し早くしてもらいたい税金納が一日の仕事ではありませんからね――(事務下手嘘生)▲記者さん私は半島の貴紙愛讀者ですが面白い事が半島にどつさりありますが投書しても構いませんか(閑度生)▲平壤の電話交換手君は今少し敏活に交換して被下い呼出して十分間も掛る樣では近い處は歩て行く方が便利だ(電話利用生)▲平壤守備隊は今秋沙里院を中央として機動演習を實施せらるゝとの噂ありとす果して然るときは沙里院の人士今より衞生的施設と其他商事遺憾なく計畫し且つ將卒ともに優遇せんことに今より心掛けよ(注告生)

商況

和歌山紡 合同紡績 ……

大阪三品
▲二十八日後場 ……

下關期米時報
後場 先限寄付十四圓五十錢 △中限寄付十四圓七十七錢 △先限寄付十五圓二十七錢

仁川米豆取引所
▲二十八日後場 兵庫後寄十五圓三十一錢 東京十……
大阪前止安後寄更に安く十三圓二十九錢と下放れに寄付たるも……其他より買物多く……
▲邑續て賣る 同店より手仕舞……
出來高 四萬千……百五十石

質 京城黄金町二丁目 永樂町(停留所北入) 堀佐營業所 (電話六三九番)

くだりはらによし しぼりはらによし コレガ有名ナ あかだま 赤玉 東京浅野製

ジョキニカケテムシタムギ 大福麥 營養 用途 エイセイジヨウゼヒメシマセ 電話にて御注文又は端書にて御申越し次第御配達仕候 京城南大門外 池田製麥所 電話七五九番 振替口座……

最上 鶴 醬油 京城府龍山元町 關西商會讓造所 電話三十九番 振替口座京城十三九番

花柳病專門藥 得に病めるも治し難き症を最も新學理に基き最良の新藥を用ゐて合理的に調剤し急性慢性の別なく忽ち全治せしむ 普通製金壹圓廿錢 特製金貳圓 特普製金貳圓五拾錢 ◎一週間分 ●自宅療法 ●類似品あり花柳病には東京ドラッグの製剤に限る 京城永樂町二丁目交番北 東京ドラッグ商會 鮮本部 中込あれば代金引換にて送付す

瓢水味淋 登録商標 堺 嶋縣釀 專賣店 京城本町二丁目 前田酒店

花柳病專門藥房 ●りん病藥壹週分貳圓特製參圓 ばい毒藥壹週分壹圓廿錢特製貳圓 小包料拾貳錢引換廿壹錢 近來東京其他各地に類似ドラッグあり藥品に有用製藥なき物は凡て僞物に付御買取の際御注意を乞ふ 京城南大門外停車場通 ドラッグ商會本部 振替京城四六七番 電話園二五六七番 ●詳細は本月一日の本紙を御覽

品質純良 エモト 粕取燒酎 味淋 發賣元 京城蓬萊町 三巴酒造場 電話園一〇六七番 三巴大田支店 電話園二三五番 三巴平壤支店 電話園五二一番

醫化學諸器械一式 (K) 仁川本町 北島藥店 電話二三四・振替京城六七七番 京城本町永樂町 北島藥店支店 電話七六一番

賣藥種卸商

最良毛製屋根葺材料 ラバロイド 見本及定價表進呈 朝鮮總代理店 京城本町二丁目 釘本藤次郎本店 電話長四五番 振替京城二七四六番 代理店 釜山南濱町 角野商店 電話一二三番 元山港 美島商店 電話一五九番 振替京城一七一二番 鎭南浦 釘本支店 電話六三 振替七六三

品質卓絶 中味豐富 優等清酒 登錄商標 金露 攝津灘魚崎 釀造元 大塚釀造所 各地到所信用ある食料品店に販賣せり金露印と御指定御買上被下度候 發賣元 京城南大門通二丁目 大塚京城支店 電話四〇番 振替口座五七〇番

仁川本町三丁目 朝鮮商業銀行仁川支店 電話八四九番 振替京城一〇六二番
仁川本町一丁目 朝鮮銀行仁川支店 電話一一番 三三番 振替貯金京城三四〇
仁川本町二丁目 十八銀行仁川支店 電話園一八番 九一八 振替京城二六七六
仁川本町二丁目 百三十銀行仁川支店 電話園五八番一〇一 振替貯金京城五五

最上醬油 朝鮮仁川 高杉醬油醸造場

金泉醴泉間自動車時間
金泉織居自動車支部 金泉電話四八番

大邱浦項間自動車時間
大塚農場自動車部 大邱出張所 電話一一七番

汽船釜山出帆廣告
○門司、神戸、大阪行 立神丸 月 日後五時出帆
○元山、清津、浦鹽行 立神丸 月 日後十時出帆
○元山、城津、浦鹽行 小倉丸 月 日後十時出帆
○元山、西湖、新浦、城津、清津行 第三琴平丸 月 日後六時出帆
○門司、宇品、神戸、大阪行 第三琴平丸 月 日後六時出帆
○住須奈、嚴原、壹岐、博多行 天眞丸 毎月二日、九日、十四日、廿一日、廿六日 午後十時出帆
釜山港立新町 本船取扱店 大池回漕部

共同汽船仁川出帆
○芝罘、大連行 監督府命令船 第共同丸 八月三十日後二時入 九月二日前十一時出
朝鮮鐵道要驛にて荷客連絡輸送御取扱仕候 大連にて市島行定期船に接續可致候
○城津、清津、浦鹽行(元山出帆) 第一阪鶴丸 月 日後九時出
○西湖津沿岸各港を經て雄基行 第三共同丸 元山出帆 月 日前八時出
阿波國共同汽船株式會社
仁川代理店 本町二丁目 電話(一〇八番) 山下回漕部
元山代理店 電話二四四七番 田口回漕部
京城取次店 南大門(電話二六八・二〇七) 河村運送店
●中國四國九州各港行船客に對し一貫切符を以て連絡切符發賣仕候

日本郵船仁川出帆
○大連、天津、牛莊行 朝陽丸 九月 七日 正午出帆
相模丸 九月十七日 正午出帆
高砂丸 九月廿八日 正午出帆
三河丸
仁川海岸町十一番 電話 郵船 回漕部

尼崎汽船仁川出帆
○群山、木浦、釜山、下關、神戸、大阪行
○君が代丸 九月 七日 後四時出帆
大有丸 九月十二日 後四時出帆
神代丸 八月三十日 後四時出帆
秀吉丸 八月 後四時出帆
仁川海岸通五十九番 電話五十九番 高杉回漕部

朝鮮郵船出帆
○全羅丸 八月三十日 釜山發
○京畿丸 九月九日 釜山發
○黃海丸 九月 日 釜山發
○成鏡丸 九月三日 釜山發
○鎭南浦丸 ○昌平丸 ○慶尙丸 元山發
○忠淸丸 ○平壤丸 八月三十日 元山發
○永興丸 每月廿八日 元山發
○盈德丸 九月 釜山發
○江陵丸 ○寶陽丸 每日 釜山發
○三浦丸 八月廿九日 釜山發
○濟州丸 ○巨濟丸 ○慶尙丸 每日 釜山發
○鯨天丸 三日毎 木浦發
○慶興丸 八月廿九日 木浦發
○慶興丸 九月一日 木浦發
○公州丸 九月三日 木浦發
○宗信丸 八月廿九日 仁川發
○江原丸 九月五日 仁川發
○晉州丸 ○麗水丸 九月七日 仁川發
○錦江丸 ○南陽丸 每日午前 仁川發

大阪商船仁川出帆
○外航所開航路並沿岸航路の時は五分引を以て連絡切符發賣仕候
○群山、木浦、釜山、門司、神戸、大阪行
須磨丸 九月四日 後五時出
安東丸 八月廿九日
天智丸
○鎭南浦、龍岩浦、安東縣行 濟州丸 九月十日 後二時出
○木浦、釜山、嚴原、鄕の浦、長崎行 信濃川丸 八月十四日 後二時出
○信濃川丸 九月廿七日 後二時出
○大連、天津行 九月九日 後二時出
○日本丸 八月 正午出帆
○群山、釜山、横濱行 九月 後二時出
○清津、浦潮行(元山出帆) 九月十六日 後二時出
○安平丸 九月二日
○宮島丸
○上海、北陸、打狗行(大連出帆) 城津丸 九月十二日 後四時出
湖北丸
御注意 朝鮮鐵道及び南滿洲鐵道各驛との間に連絡切符發賣仕候
切符發賣所 大阪商船會社仁川支店 電話五五番 京城切符發賣所 西國運送會社支店 電話七〇八番